



Contents

トップメッセージ	03
三重交通グループについて	05
CSRへの考え方/グループ基本理念/経営指針	07
三重交通グループ中期経営計画(2019-2022)	08
トピックス 名古屋三交ビル2020年4月開業	11
会社概要	13
財務データ	14
コーポレート・ガバナンス	15

安全・安心への取組み	18
新型コロナウイルス感染防止対策	19
バス事業の取組み	21
その他の取組み	25
環境への取組み	27
バス事業の取組み	28
その他事業の取組み	29
社会への取組み	31
お客様のために	32
株主・投資家の皆様のために	35
従業員のために	36
地域のために	38

Mie Kotsu Group

≡ 三重交通グループホールディングス

会社概要 CSRの取り組みなど

安全・安心への取り組み

環境への取り組み

社会への取り組み

名古屋三交ビルと名古屋駅周辺の街並み

編集方針

● 報告内容範囲と主な対象

当社および当社グループが、企業の社会的責任として取り組んでいる企業活動、社会活動、環境保全活動を中心に掲載し、当社グループ事業のステークホルダーの皆様がより一層のご理解と親しみを持って頂けることを目的とします。

● 数値データ 集計対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日
数値データについては、三重交通グループ主要会社または一部の会社の合計となります。

● 対象範囲

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の取り組みを基本として、必要に応じて2019年度以前・2020年度の活動についても一部紹介しています。

● 作成指針

以下のガイドライン等を参考にしました。

・環境省「環境報告ガイドライン2018年度版」

・「GRI(Global Reporting Initiative)サステナビリティ・レポート・スタンダード2016」

※可能な限り収集データには精度を求めましたが、一部推計として集計しているものがあります。

※各取り組みについては実施の各会社名を記載しています。

● 内容へのご意見・お問い合わせについて

当社では、ホームページの「お問い合わせ」ページ等で広くお客様の声をお待ちしています。CSRに関する当社の取り組みや本レポートへのご意見・ご感想を頂ければ幸いです。お寄せいただきましたお客様の声は、今後の施策の参考にいたします。

お問い合わせページ <https://holdings.sanco.co.jp/contact/>

お問い合わせ先

三重交通グループホールディングス株式会社
〒514-0032 三重県津市中央1番1号 TEL.059-213-0351



TOP MESSAGE トップメッセージ

変化する社会に
グループの総合力をもって対応し、
持続可能な経営を推進します

三重交通グループホールディングス株式会社
代表取締役社長

原 恭

平素より三重交通グループの事業に対し、格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

2020年6月16日開催の第14期定時株主総会並びに取締役会におきまして、代表取締役社長に選任され就任いたしました。小倉前社長の方針を引き継ぎ、一意専心社業の発展に全力を尽くす決意でございます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

当社は、三重交通グループを統括する純粋持株会社として、グループの基本戦略を策定・遂行するとともに、各社の事業活動を推進・支援しております。そして、三重交通ブランドの信用力を基に、運輸、不動産、流通、レジャー・サービスの異なる4つの部門を連携、相互補完させながらリスクに強い体制を構築して、地域に密着した総合生活産業を

営む企業グループとして持続的な成長を続けていくことを目指しています。さらに、お客様や地域社会のお役に立ち、信頼していただくことで企業グループが存続できると考えております。当社グループの根幹は運輸業であり、長年にわたりバス事業を営み、地域住民の足として公共的役割を果たしてきた知名度と信用力が最大の財産です。これが、不動産、流通、レジャー・サービス各事業の信頼の源泉となることで、事業規模を拡大してまいりました。この信頼の源泉を支えるものが「安全」です。当社グループは常日頃から安全に対して絶えず高い意識を持って取り組み、組織全体で緊張感を高め、模範となる体制の堅持に努めているところであり、今後も引き続き「安全・安心・安定・快適なサービス」を皆様に提供してまいります。

2020年3月期決算について

2020年3月期の営業収益は、前期比2.2%減の1,039億26百万円、営業利益は、17.1%減の59億18百万円、経常利益は、16.7%減の58億74百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、17.4%減の37億60百万円となりました。これは、2020年2月以降国内で新型コロナウイルス感染症が拡大したこと

により、当社グループも、3月以降の学校休業や外出自粛等の影響を大きく受けたためであり、特に人々の移動に関わるバス、タクシー等の運輸業、ビジネスホテル・旅館等のレジャー・サービス業、そして東急ハンズ等の流通業は、厳しい結果となりました。

新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

当社グループは、コロナ禍の厳しい環境に対応するためにも、まずは中期経営計画の基本方針の一つである「安全・安心・安定・快適なサービス」の提供を実現できるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。運輸業では、グループバス会社がいち早く全車両への抗菌・抗ウイルス加工の施工を計画し、観光バス・乗合バスともに2020年11月には全車両の施工が終了いたします。そのほか、車内の換気や消毒、バスツアー参加

のお客様への検温等を実施し、お客様に安心してご利用いただけるよう取り組んでいます。不動産業では、対面を避けた見学会や相談会等も行いました。流通業やレジャー・サービス業においても、フロントやレジ前の混雑を避ける工夫や、レストランの座席の間隔を確保する等、3密を避ける対策を行っています。また、従業員の感染防止対策として、テレワークやWEB会議なども積極的に取り入れています。

WITHコロナへの取り組みとその先を見据えて

新型コロナウイルスの影響は当面続く可能性があり、テレワークやWEB会議の普及等によって、たとえ収束しても我々の事業分野においては完全に以前の状態に戻ることは難しいのではないかと考えています。そのため、引き続き新しい時代にも対応すべく、様々なアイデアを出し柔軟な発想で対応していく必要があります。例えばグループの中では、ビジネスホテルで宿泊時における地元飲食店からのデリバリーサービスを始めたり、三重県内においての県外移動制限期間にはホテル、ロープウェイ、ドライブイン、ガソリンスタンド等が連携した「三重県民限定プラン」を企画したりと、新たなライフ・ワークスタイルに沿ったサービスの提供も行っています。また、「GoToトラベル・イートキャンペーン」においても旅行ツアーをはじめ様々な分野で参画し、顧客確保に向けて取り組んでいます。さらに、収束した後の、その先を見据え、2019年に策定した中期経営計画を進め、経営基盤を固めてまいります。2020年4月には「名古屋

三交ビル」が開業し、ホテルフロアの「三交インGrande名古屋」がオープンしたほか、グループ6社が入居しました。また、当ビル近隣において、第2名古屋三交ビル(仮称)を2024年春の開業を目指して計画しており、名古屋地区の拠点として機能強化を図ってまいります。景気変動の影響を受けにくい環境エネルギー(太陽光発電)事業については、2020年10月に完成した「津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所」を合わせて、発電規模は114メガワットまで拡大いたしました。そのほか、2020年3月より進めてまいりました農業では9月に高糖度トマトの出荷が始まりました。また、バス事業についても三重県内初となる連節バスを12月末に運行開始する予定です。(中期経営計画については8~10ページを参照) 当社グループは、今後も皆様と協力して変化する社会へと立ち向かい、「持続的な成長・発展の実現」を目指して取り組んでまいりたいと考えていますので、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三重交通グループは、安全・安心・安定・快適な

運輸業

運輸業は、グループ6社からなり、三重交通グループの基幹事業の一つとして、日本でも有数の規模を誇るバス事業を中心に展開しています。地域社会の足として、安全対策の推進、多様化する顧客ニーズへの対応を行い、さらなるお客様満足度向上を目指しています。



三重交通株式会社



三重県内を中心に、地域の公共交通として乗合・貸切バス事業を展開しています。さらには、名古屋・東京・大阪・京都への都市間高速バスや、中部国際空港行のリムジンバスを運行しています。

名阪近鉄バス株式会社



愛知・岐阜・三重県の東海地方において、基幹事業の貸切バス事業をはじめ、岐阜県西濃地域をつなぐ乗合バスやコミュニティバス、名古屋から京都・大阪・USJを結ぶ高速バスを運行しています。

三交伊勢志摩交通株式会社



三重県伊勢地区の一部乗合路線と「高速鳥羽大宮線」を運行するほか、貸切バス事業や三重交通からの乗合・貸切運行受託事業を行っています。

三重急行自動車株式会社



貸切バス事業や三重交通からの貸切運行受託事業のほか、「大杉線」(松阪駅前～シャープ正門前)を三重交通と共同運行しています。

八風バス株式会社



三重県の桑名駅からいなべ市大安町を結ぶ乗合バスの運行や、コミュニティバスの運行受託を行っています。

株式会社三交タクシー



三重県内に4つの営業所があり、企業の送迎、観光タクシー、買物代行等幅広くご利用いただいています。また少人数の団体の移動に人気のジャンボタクシーも10台程所有しています。

不動産業

不動産業は、グループ3社からなり、三重交通グループの基幹事業の一つとして、多様なニーズを捉えた「まちづくり」の一翼を担っています。環境エネルギー事業の「メガソーラー」にも注力し、安心・快適な都市空間・住空間を拓いています。

三交不動産株式会社



中部圏、首都圏、関西圏において、オフィスビルや商業施設、都心型ホテル等を開発する施設賃貸事業や分譲マンションブランド「Praise(プレイズ)」を展開しています。また、地元中部圏においては、街並みをデザインする分譲戸建ブランド「Precia(プレシア)」、[三交ホーム]ブランドで親しまれている注文住宅事業、リフォーム事業、仲介事業、サービス付き高齢者向け住宅事業に加え、近年では環境に優しいクリーンエネルギーのメガソーラー発電所の開発や、農業に参入する等、多岐にわたる事業を展開している総合不動産会社です。

株式会社三交コミュニティ



三重県、愛知県を中心に、分譲マンションやビル・商業施設等の総合管理事業、ホテルの客室清掃事業を行っています。また、建物設備やマンションの大規模修繕工事、庭木・植栽の剪定など、地域に根ざした事業を展開しています。

株式会社三交不動産鑑定所

中部圏を中心に不動産鑑定と補償コンサルティングを両輪とした業務を展開しています。長年の実績や三重交通グループの一員としての信用をベースに行政関係、企業から個人のお客様まで、クライアントのニーズにあった質の高いスピーディーな評価でおたえします。

サービスの提供を目指します。

流通業

流通業は、グループ4社からなり、石油製品販売事業、生活用品販売事業でのフランチャイズ展開、自動車販売事業を行っています。暮らしを支える商品・サービスを提供し、快適で創造性豊かな暮らしの実現をサポートしています。



三重交通商事株式会社



三重県内一円と名古屋において、サービスステーションを展開して石油製品や、自家用車等を販売しています。また、整備工場での自動車整備や液化石油ガスの供給・販売などの事業も展開しています。

株式会社三交シーエルトツ



三重県のイオンモール桑名内にある「東急ハンズ桑名店」と、名古屋市西区の商業施設mozoワンダーシティ内にある「東急ハンズ名古屋モゾワンダーシティ店」の2店舗をフランチャイズにより展開しています。

株式会社三交イン



ビジネスホテルを営む三交インは、東京・静岡・愛知・三重・大阪・京都に全15ホテルを展開し、2020年4月には名古屋駅桜通に「三交インGrande名古屋」を開業しました。

御在所ロープウェイ株式会社



鈴鹿国立公園の主峰御在所岳と湯の山温泉を結ぶ全長2,161m、高低差780mの「御在所ロープウェイ」を運営しています。2018年7月にリニューアルを行い、御在所岳の優れた自然環境の魅力を今まで以上にお楽しみいただけます。

三交興業株式会社

名阪国道・伊勢自動車道・東名阪自動車道の分岐点である関JCT近くに「名阪関ドライブイン」、名阪国道大内IC沿いに「名阪上野ドライブイン」を運営しています。

株式会社松阪カントリークラブ

1978年にオープン、松阪市街地に隣接した丘陵地に位置する「松阪カントリークラブ」(18ホール・パー72)を運営しています。

ミドリサービス株式会社

主に岐阜県西濃地域にて、造園土木業、警備業・生活支援業を展開しています。

三交ウェルフェア株式会社

三重県桑名市にあるサービス付き高齢者向け住宅「ウェルフェア桑名」の運営及び介護事業を展開しています。

株式会社三交クリエイティブ・ライフ



名古屋駅のジェイアール名古屋タカシマヤ5F~11Fにある「東急ハンズ名古屋店」と、栄の「東急ハンズANNEX店」の2店舗をフランチャイズにより展開しています。

三重いすゞ自動車株式会社



三重県内一円に営業拠点を持ついすゞ自動車販売店です。トラック・バス等の新車販売業、中古車販売業、用品の販売・製作、修理・加工及び車体製作、その他付帯事業を展開しています。

鳥羽シーサイドホテル株式会社



2016年に指定70周年を迎えた伊勢志摩国立公園内に位置し、鳥羽湾を一望できるリゾートホテル「鳥羽シーサイドホテル」を運営しています。

株式会社三重カンツリークラブ



御在所岳山麓の湯の山温泉から近く、新名神高速道路菟野IC下車約3分のところに位置する本格的リゾートコース「三重カンツリークラブ」(18ホール・パー72)を運営しています。

名阪近鉄旅行株式会社

愛知県、岐阜県、三重県での企画旅行商品「カントリーパック」の販売をはじめ、海外旅行、団体旅行等、楽しい旅をご提案しています。

株式会社三交ドライビングスクール

三重県四日市市の四日市自動車学校では、大型二種(バス)免許をはじめ、大型、普通、二輪等すべての運転免許が取得可能です。また、名古屋市港区の名四自動車学校も運営しています。

三重県観光開発株式会社

伊勢志摩スカイラインの有料道路や売店をはじめ、伊勢自動車道の安濃SA上り線、嬉野PA下り線、東名阪自動車道の亀山PA上下線、大山田PA下り線の売店等を運営しています。

レジャー・サービス業

レジャー・サービス業は、グループ11社からなり、ホテル・旅館・ロープウェイ・ドライブイン・ゴルフ場等を運営しています。国内旅行をはじめとするレジャーやサービスを提供し、うるおいのある時間づくりをお手伝いしています。



CSRへの考え方/グループ基本理念/経営指針

三重交通グループのCSRへの考え方

三重交通グループは、経営指針に基づき、お客様や地域社会の皆様に安全・安心・安定・快適なサービスを提供するとともに、法令・企業倫理の遵守を重視した誠意ある経営を行います。また、環境問題の重要性を認識し、企業活動による環境負荷の最小化に努め、持続的発展が可能な社会づくりに貢献します。これらの取組みを通じて、企業の社会的責任を果たし、あらゆるステークホルダーの期待にお応えできるよう誠実に行動してまいります。

SDGsのアプローチ

2015年に国連サミットで採択されましたSDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)を受けて、当社グループとして社会的課題の解決に向けて取り組み、地域社会の持続可能な発展に貢献していきます。

SDGsとは?

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs(エスディージーズ)とは、世界中のすべての人々が幸せに暮らすことができる社会をつくるために、国際サミットが決めた国際社会共通の目標のことです。2016年から2030年までの15年間で達成すべく17の目標と、169の具体的な行動目標で構成されています。貧困や不平等、気候変動等に対処しながら「誰一人取り残さない」社会を目指して、世界中でSDGsへの取組みが始まっています。

グループ基本理念

三重交通グループは、お客さまの豊かな暮らしと
地域社会の発展に貢献します

グループ経営指針

① お客様のよろこびの追求

“お客様のよろこび”を追求し、
新たな価値を提供します

② 地域社会への貢献

価値ある事業を展開し、
地域の発展に貢献します

③ 絶えざる自己革新

過去にとらわれず、
常に未来に挑戦します

④ 誠実な企業活動

誠実な企業活動を行い、
よき企業市民としての信頼を深めます

⑤ グループ総合力の発揮

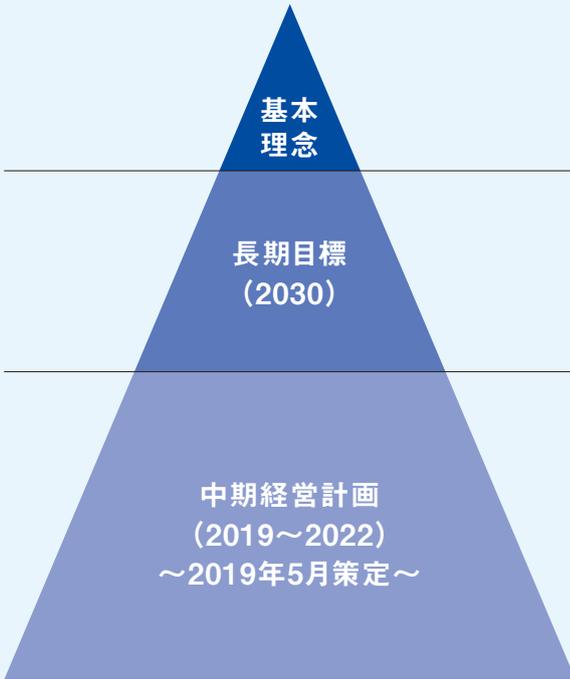
互いに協力・連携し、
グループの総合力を発揮します

⑥ いきいきとした企業風土

いきいきと働ける環境を築き上げ、
社員の活力を高めます

三重交通グループ中期経営計画 2019▶2022

当社グループは、2019年度より4カ年の「三重交通グループ中期経営計画(2019-2022)」を策定し、取組みを進めています。



グループ基本理念

「三重交通グループは、お客さまの豊かな暮らしと地域社会の発展に貢献します」

2030年のありたい姿

事業構造の変革で築いた高い収益力と強固な財務基盤を以って、事業領域の持続的拡大とグループ全体のさらなる信用力向上を目指します。
～三重県No.1の企業グループ、そして全国的な知名度アップ～

2022年にあるべき姿

事業構造の変革スピードを緩めることなく、2030年の「ありたい姿」に向かって、グループの総合力を結集し、持続的な「成長・発展」を実現します。
また、変化する環境への適応力向上と地域貢献活動に努めます。

三重交通グループの新しい中期経営計画

新たな時代に進み続ける～Keep on Going「令和」～

基本方針

- 安全・安心・安定・快適なサービスの提供
- 成長分野の深耕と創造
- 持続的な安定経営への努力
- 市場の変化に対応した事業モデルの構築
- ICT・AI等の有効活用

重点施策

- 1 グループの信用力と知名度の源泉となる「安全・安心・安定・快適」の追求
- 2 人口減少・少子高齢化社会において成長戦略が描けるよう「東京・名古屋・関西での事業」を展開
- 3 地域の街づくりや観光振興等「三重エリアでの事業」を深化
- 4 グループの成長ドライバーとして引き続き「環境エネルギー事業」と「三交イン事業」の推進
- 5 お客様の「利便性向上」、事業の「生産性向上」・「効率化」が図れるよう「ICT・AI等の活用」を推進

計画最終年度(2023年3月期)の経営計画目標値

2023年3月期の経営計画目標値

	2020年3月期(実績)	2023年3月期(計画)		2020年3月期(実績)	2023年3月期(計画)
営業収益	103,926	115,000	自己資本比率	29.4%	35%程度
営業利益	5,918	8,300	ROE(自己資本純利益率)	7.6%	9.0%程度
経常利益	5,874	8,000	ROA(総資産営業利益率)	3.6%	4.0%~5.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,760	5,300	有利子負債/EBITDA倍率	6.7倍	6倍以下
		(単位:百万円)	D/Eレシオ	1.6倍	1.5倍以下

重点施策の具体的な取組み

(2020年9月までの進捗)

1 安全・安心・安定・快適の追求

連節バスの試験走行

三重交通(株)は2021年春を目途に伊勢市内で導入を目指している連節バスの試験走行を実施しました。

実施期間 ▶ 2019年9月2～6日



伊勢市内MAP

MaaSへの取組み

三重交通(株)と(株)三交タクシーは、近鉄グループが取り組む「志摩MaaS」の実証実験に参画しました。実証実験第1弾は2019年10～11月に、第2弾は2020年1～3月にオンデマンド交通の検索・予約・決済が継ぎ目なく利用できる観光地型MaaSアプリ「ぶらりすと」を使って実施されました。



オンデマンドバス実験車



専用アプリ「ぶらりすと」

2 東京・名古屋・関西での事業展開

名古屋エリアの収益拡大と資産のバリューアップ

名古屋三交ビルの開業

三交不動産(株)が建替えを進めていた名古屋三交ビルが2020年4月に開業しました。ホテルフロアには「三交インGrande名古屋」がオープンしたほか、オフィsfloアには一般企業様のほか、三重交通グループ6社が集結し、名古屋地区の拠点として機能強化を図りました。

8階～16階【ホテルフロア】

三交インGrande名古屋

2階～7階【オフィsfloア】

三交不動産(株) 名阪近鉄バス(株)
名阪近鉄旅行(株) (株)三交イン
(株)三交コミュニティ (株)三交不動産鑑定所

1階【店舗フロア】※

松阪牛を提供する飲食店、名古屋の老舗カフェが展開するコーヒースタンド等

※新型コロナウイルス感染拡大により未開業の店舗があります



(仮称)第2名古屋三交ビル

三交不動産(株)は、名古屋三交ビルに近接する既存賃貸施設及び立体駐車場を地下1階地上14階のビルに建て替えることを決定しました。2024年春の開業を目指して2020年8月より既存建物の解体工事が始まりました。

リア中央新幹線予定駅周辺の街づくりに調和したランドマークとなる外観、総合設計採用による街と連なる開放的な空間設計を目指し、賑わい演出を図ります。

ビル概要

敷地面積
| 約2,743.13m²(約829.79坪)

延床面積
| 約21,000m²(約6,400坪)

主要用途

- 地下1階 …… 駐車場
- 1階 …… 商業フロア
- 2階～14階 …… オフィス賃貸フロア



(名古屋三交ビル、(仮称)第2名古屋三交ビルの詳細については11～12ページを参照)

名古屋市交通局市バス運行受託

2020年4月、三重交通(株)が管理受託している港明営業所の車両が16両増加しました。これにより、名古屋市交通局からの受託車両が182両となりました。



3 三重エリアでの事業を深化

農業

三交不動産(株)は、三重県津市にて高品質・高付加価値のミニトマトの生産を開始し、2020年9月から出荷を開始しました。今後も安定的に生産することで、「農業ビジネス」の成立と「地域の雇用創出」・「地方創生」に貢献します。



2020年
8月～ **生産**

2020年
9月～ **収穫**

新名神高速道路開通効果 (新四日市JCT～亀山西JCT)

(株)三重カンツリークラブ、(株)松阪カントリークラブでは、新名神高速道路の開通効果により、中京圏、関西圏の来場者が大幅に増加しました。今後も商品プランを充実する等して来場者増加を目指します。



4 環境エネルギー事業と三交イン事業の推進

環境エネルギー事業

三交不動産(株)が、建設を進めていた「津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所」の完成をもって発電規模が114メガワットになりました。

中期経営計画(2019-2022)期間中に完成した施設

施設名	発電規模	発電開始
大仏山メガソーラー発電所	13.8メガワット	2019年4月
南伊勢神津佐メガソーラー第2発電所	14.7メガワット	2020年3月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第6,7発電所	5.1メガワット	2020年8月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第2,3発電所	4.5メガワット	2020年9月
津メガソーラー社の街中勢バイパス第5発電所	1.3メガワット	2020年10月



大仏山メガソーラー発電所



南伊勢神津佐メガソーラー第2発電所

三交インの開業とリニューアル

2019年9月にビジネスホテル「三交イン京都八条口」を開業しました。また、同年11月から大規模リニューアル工事を実施していた「三交イン名古屋新幹線口」が2020年3月にリニューアルオープンを迎えました。さらに、同年4月には名古屋三交ビル内に「三交インGrande名古屋」が開業し、これにより全15ホテル・2,096室のホテルチェーンとなりました。



投資

2019年度は、バス車両等の維持更新投資で約45億円、メガソーラー発電所2施設、名古屋三交ビルの建設、賃貸土地取得等の戦略的投資で約84億円、計129億円を投資しました。



新型コロナウイルス感染症の影響と対応策

2020年2月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響がグループ全体に出ています。このような中、グループ各社は、お客様及び従業員の感染防止対策を徹底するとともに、店舗休業等により減少した収益の確保を目指して「新しい生活様式」に沿った営業活動を展開しています。また、人件費や販売経費等の費用を抑制することで利益確保に努めるほか、投資についても安全投資や長期にわたって利益を生む計画以外は一部先送りを実施する等、業績への影響を最小限に抑えられるよう様々な施策に取り組んでいます。(新型コロナウイルス感染症の対策については19～20ページを参照)

名古屋三交ビル 2020年4月24日開業

名古屋市中村区名駅三丁目に建替えを進めておりました「名古屋三交ビル」が開業いたしました。

新たな「名古屋三交ビル」は、「名古屋」駅徒歩約8分、名古屋市営地下鉄「国際センター」駅徒歩約1分、目抜き通りである「桜通」に面し、地下街ユニモールで名古屋駅にも直結する利便性に優れた立地です。建物全体が優れた耐震性、防災性と機能性を持ち、省エネルギー化等を図るとともに、名駅エリアの新たな都市機能と景観を創出し、地域の賑わいに貢献できることを期待しています。

8～16階	ビジネスホテル 「三交インGrande名古屋-HOTEL&SPA-」
2～7階	オフィスフロア 2階貸会議室 3～5階一般企業様 6～7階三重交通グループ会社
1階	飲食店舗(3店舗)



1階正面エントランス

アクセス

「名古屋」駅から徒歩約8分、地下街ユニモール14番出口すぐ。地下1階にて名古屋市営地下鉄「国際センター」駅コンコースと新しいビルをつなぐ地下歩行者通路が開通。エレベータを利用した名古屋駅方面へのバリアフリーによるアクセスが可能となり、雨に濡れることなくスムーズにお越しいただけます。新たな接続部は内照式の照明等を採用し、歩行者の安全や通路の美観に寄与します。



地下1階連絡通路



「(仮称)第2名古屋三交ビル」再開発について

名古屋駅前に14階建てオフィスビル 2024年春開業予定
「名古屋」駅から徒歩7分、名古屋三交ビルから名古屋駅に約50メートル寄りに位置する場所へ、「(仮称)第2名古屋三交ビル」の開発を予定しています。本事業は弊社が所有する既存賃貸施設及び立体駐車場から新たにオフィスを中心とした地下1階、地上14階ビルを建設するものです。建物全体の耐震性はもとより、総合設計を用い、周辺地域を含めた防災性と機能性の向上、リニア中央新幹線予定駅周辺の新たな都市景観を創出し、さらなる地域活性化の一端を担ってまいります。



「(仮称)第2名古屋三交ビル」
外観イメージ



「(仮称)第2名古屋三交ビル」
「名古屋三交ビル」位置関係

8～16階 三交インGrande(グランデ)名古屋-HOTEL&SPA-

8～16階には、三重交通グループの(株)三交インが運営するビジネスホテルで、ワンランク上のサービスを提供する「Grande」ブランドの2号店「三交インGrande名古屋-HOTEL&SPA-」が開業しました。客室は全128室で、シングル112室(うちバスタ입64室、シャワータイプ48室)、ダブル8室、ツイン7室、ユニバーサル対応1室をご用意し、ビジネスだけでなく、インバウンド、ファミリー層、観光需要に幅広く対応しています。また、館内には人工温泉質の男女別スパも完備。名古屋滞在の拠点としてご利用いただけるよう、やすらぎとくつろぎの空間を提供いたします。



フロント



ツインルーム



スパ



ラウンジ

3～7階 オフィスフロア

3～5階には一般テナント様6社が入居しました。6～7階には、三重交通グループの三交不動産(株)・名阪近鉄バス(株)・名阪近鉄旅行(株)・(株)三交イン・(株)三交コミュニティ・(株)三交不動産鑑定所が入居。三重交通グループでは各社のオフィスを集約することで、名古屋地区の拠点として機能強化を図ります。



7階 三重交通グループ総合受付

2階 オフィスフロア(貸会議室)

2階には、貸会議室を多数運営している東邦不動産(株)(東邦ガスグループ)様が管理・運営を行う、貸会議室「Tsudico NAGOYA Sta. EAST(ツドイコ名駅東カンファレンスセンター)」が入居しました。12席から120席まで、大小合わせて8つのカンファレンスルームがあり、それぞれが個性的でどこかほっとするような雰囲気のある部屋が用意されています。



1階 飲食店舗

名古屋の老舗カフェ「(株)サンモリッツ&東京青山口ハスビーンズ」様によってプロデュースされた初業態のコーヒースタンド「ST.MORITZ COFFEE STAND(サンモリッツコーヒースタンド)」が入店(2020年5月オープン)。さらに、三重県名産松阪牛の専門店「(株)朝日屋(本社:津市北丸之内)」様から、名古屋地区初出店となる『すき焼き牛しゃぶ「松重(まつじゅう)」』と、『焼きとり「鳥さわ」』が入店しています(近日オープン予定)。



名古屋三交ビル

所在地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目21番7号
敷地面積	1,227.48m ² (371.31坪)
延床面積	約10,470m ² (約3,167坪)
事業費	約50億円

(仮称)第2名古屋三交ビル

所在地	愛知県名古屋市中村区名駅三丁目1905番他「名古屋」駅徒歩約7分
敷地面積	2,743.13m ² (829.79坪)
延床面積	約21,000m ² (約6,400坪) ※総合設計採用予定
主要用途	地下1階 駐車場 1階 商業フロア 2～14階 オフィス賃貸フロア
スケジュール	解体工事:2020年8月～ 開業:2024年春
事業費	約95億円

会社概要 2020年7月現在

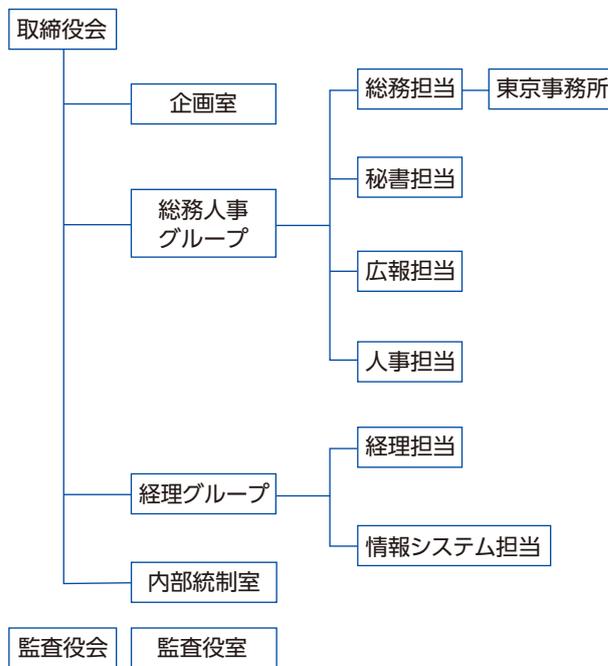
会社名	三重交通グループホールディングス株式会社 (英文名 Mie Kotsu Group Holdings, Inc.)
設立年月日	2006年(平成18年)10月2日
所在地	本社 〒514-0032 三重県津市中央1番1号 東京事務所 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目2番5号 京橋TDビル3階
資本金	3,000,000,000円
発行済株式総数	107,301,583株

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
従業員数 (2020年3月31日現在)	39名(グループ従業員数5,887名)
上場取引所	東京証券取引所市場第1部、 名古屋証券取引所市場第1部 (証券コード:3232)
事業内容	株式所有によるグループ連結経営の 立案と実行
グループ事業	運輸業/不動産業/流通業/ レジャー・サービス業
グループ会社	25社 (三重交通グループホールディングスを含む)

役員紹介

代表取締役会長	岡本 直之
代表取締役社長	原 恭
代表取締役副社長	竹谷 賢一
取締役	柴田 俊也
	谷口 弘幸
	川村 則之
	高林 学
	藤原 茂久
	武藤 隆行
	藪本 竜太郎
	伊藤 貴之
	田端 英明
	村田 陽子
	内田 淳正
	楠井 嘉行
	都司 尚
監査役(常勤)	雲井 敬
	中川 伸也
社外監査役	小林 克
	若井 敬

組織図

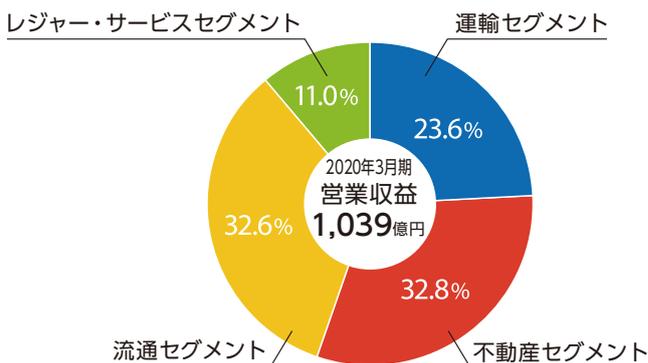


連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

営業収益	103,926百万円 (前期比2.2%減)
営業利益	5,918百万円 (前期比17.1%減)
経常利益	5,874百万円 (前期比16.7%減)
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,760百万円 (前期比17.4%減)

事業別の概要 (連結営業収益のセグメント別構成比)

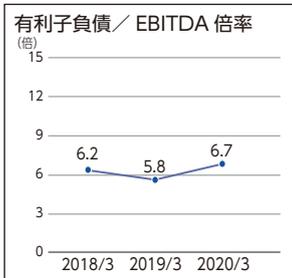
※各事業の営業収益割合には、セグメント間の内部営業収益等が含まれています。



財務データ

経営指標

	2018/3	2019/3	(百万円) 2020/3
営業収益	104,436	106,244	103,926
営業利益	6,244	7,139	5,918
営業収益営業利益率 (%)	6.0	6.7	5.7
連結子会社数 (社)	23	23	22
経常利益	6,431	7,049	5,874
総資産経常利益率 (%)	4.1	4.5	3.5
親会社株主に帰属する当期純利益	4,172	4,551	3,760
自己資本当期純利益率 (%)	10.0	9.8	7.6
1株当たり当期純利益 (円)	42.15	45.93	37.89
1株当たり配当 (円)	8	9	10
利益剰余金	23,111	26,741	29,112
総資産	155,787	160,770	170,921
自己資本	43,973	48,610	50,232
自己資本比率 (%)	28.2	30.2	29.4
発行済株式数 (千株)	107,301	107,301	107,301
1株当たり純資産 (円)	444.19	490.26	505.84
有利子負債	74,406	74,974	80,817
EBITDA (営業利益+減価償却費)	11,921	12,876	12,079
有利子負債/EBITDA 倍率 (倍)	6.2	5.8	6.7
減価償却費	5,676	5,736	6,161
設備投資	7,727	8,259	12,984
営業活動CF	11,598	9,261	5,856
投資活動CF	△ 8,500	△ 9,197	△ 8,435
財務活動CF	△ 3,145	△ 249	4,431
現金及び現金同等物期末残高	2,699	2,513	4,366



セグメント情報

	2018/3	2019/3	(百万円) 2020/3
営業収益	104,436	106,244	103,926
運輸セグメント	26,604	26,180	25,935
一般乗合旅客自動車運送事業	11,556	11,602	11,695
一般貸切旅客自動車運送事業	7,629	7,369	6,787
旅客運送受託事業	4,278	4,370	4,725
一般乗用旅客自動車運送事業	1,505	1,170	846
貨物自動車運送事業	201	203	203
自動車整備事業	530	551	572
その他	2,821	2,868	3,079
内部取引の消去	△ 1,917	△ 1,955	△ 1,974
不動産セグメント	35,648	35,768	36,010
分譲事業	15,497	14,359	14,180
賃貸事業	8,310	8,396	8,692
建築事業	5,965	6,465	6,090
環境エネルギー事業	3,214	3,641	4,177
不動産管理事業*	—	1,899	2,016
仲介事業	1,141	1,292	1,121
その他	1,895	63	89
内部取引の消去	△ 376	△ 350	△ 358
流通セグメント	35,531	37,134	35,864
石油製品販売事業	12,051	12,542	11,451
生活用品販売事業	12,177	11,832	11,496
自動車販売事業	11,362	12,797	12,938
内部取引の消去	△ 59	△ 38	△ 21
レジャー・サービスセグメント	12,227	12,920	12,087
ビジネスホテル事業	3,857	4,412	4,317
旅館事業	3,049	2,916	2,698
ドライブイン事業	2,296	2,322	2,083
索道事業	604	808	689
ゴルフ場事業	424	420	493
旅行事業	840	833	530
自動車教習所事業	879	908	942
その他	277	299	337
内部取引の消去	△ 3	△ 1	△ 5
営業利益または営業損失	6,244	7,139	5,918
運輸セグメント	1,827	1,419	1,156
不動産セグメント	3,729	4,971	4,802
流通セグメント	293	159	14
レジャー・サービスセグメント	305	478	△ 153
調整額	88	110	98
営業収益営業利益率 (%)	6.0	6.7	5.7
運輸セグメント (%)	6.9	5.4	4.5
不動産セグメント (%)	10.5	13.9	13.3
流通セグメント (%)	0.8	0.4	0.0
レジャー・サービスセグメント (%)	2.5	3.7	—

* 2019年3月期より不動産セグメント内の表示区分を変更しました。
 なお、2018年3月期における「不動産管理事業」は、「その他」に含まれております。

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

当社は、コーポレート・ガバナンスを企業経営上の重要課題のひとつとして認識しており、株主総会、取締役会、監査役会等の諸機関並びにその構成員が、法令に基づきそれぞれの役割を果たすことで、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。

持株会社である当社は、特定の事業を行わず、グループ経営に専念することにより全体の経営資源の効率的な配分と事業構造の最適化を図り、グループ全体の価値を高めることを目指しております。

グループの競争力強化と経営資源の効率化を図るため、多様な事業を「戦略的事業単位」にくくり、それぞれの事業を強力に推

進しております。また、グループ各社の財務、法務、広報・IR活動、その他重複する管理業務を漸次集約し、企業集団としての業務の効率化を図っております。

グループの協力・連携体制を強化し、企業集団として整合性のとれた戦略展開によって各種事業の相乗効果を一層高めてまいります。

地域企業としての事業基盤とネットワークを更に発展させ、地域社会に貢献できる企業グループとしての成長を目指してまいります。

三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー（一部抜粋）

当社は持続的な成長による中長期的な企業価値向上のため、「三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー」を制定しております。

第1章 総則

（目的）

第1条 三重交通グループホールディングス株式会社（以下「当社」という）は、当社グループの持続的な成長による中長期的な企業価値の向上を図るため「グループ基本理念」及び「グループ経営指針」に基づき、「三重交通グループホールディングス コーポレートガバナンス・ポリシー」（以下「本ポリシー」という）を制定し、コーポレートガバナンスの継続的な充実に取り組む。

（本ポリシーの位置付け）

第2条 本ポリシーは、会社法、関連法令及び定款を前提として、より実効性の高いコーポレートガバナンスを実現するための指針とする。

第2章 ステークホルダーとの関係

第4章 コーポレートガバナンスの体制

第3章 情報開示

第5章 その他

詳細はWEBサイトをご覧ください。

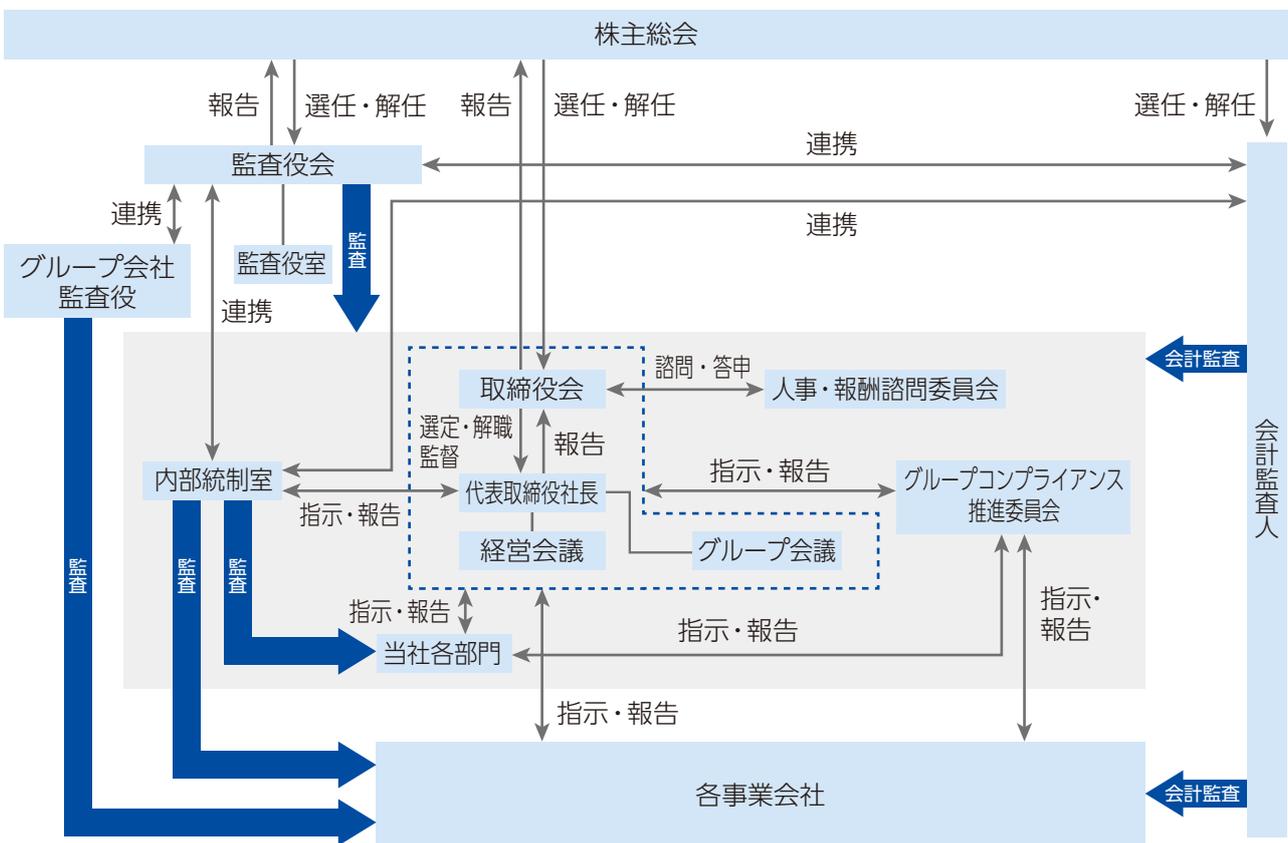
ガバナンス体制

当社は、「取締役会」を経営機構の中心に据え、当社グループの経営戦略及び重要な業務執行の意思決定並びに監督を行っております。さらに、経営戦略決定機能を強化し成長分野への事業シフトを迅速的に進めるため、代表取締役、常勤取締役及び常勤監査役で構成する「経営会議」を月1回開催しております。また、取締役会の諮問機関として、「人事・報酬諮問委員会」を設置しており、取締役の指名及び報酬等について審議し、取締役会に対して答申及び助言を行うことで、手続きの客観性及び透明性を確保しております。その他、グループ会社間の議論・意見

交換・情報共有の場としての「グループ会議」を月1回開催するほか、「グループコンプライアンス推進委員会」、「情報セキュリティ委員会」等、各種委員会組織を設け、定期的又は必要に応じて委員会を開催しております。

また、当社は監査役制度を採用しており、監査役は、取締役会等、重要な会議に出席するほか、業務執行全般を厳正に監査しております。なお、常勤監査役は、取締役会、経営会議等、重要な会議にはすべて出席し、独立した視点から取締役の業務執行を細かく監視しております。

[コーポレート・ガバナンス体制]



内部統制システム

当社は、法令に基づき、取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを、確保するための体制、その他当社並びに三重交通グループ全体の業務の適性を確保するために必要な体

制の整備について、基本方針を定めております。詳細はWEBサイトをご覧ください。

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

コンプライアンス・ステートメント

これからの企業の存続・発展は、すべてのステークホルダー（お客様、地域社会、株主・投資家、取引先等）から好感を持たれること、適切な情報開示をモラルに秀でた透明性のある企業経営を指向すること、健全な経済成果を追求すること、これらのバランスを重視するという新たな価値観、倫理観を確立すること

が必要となってきております。そこで、新たな「価値観・倫理観」の共有のために、社員全員が分かりやすく理解できるような「グループコンプライアンス行動規範」を制定しました。私たちは、自らの企業使命を自覚し、一丸となってコンプライアンスを確立しこれを遵守することをここに誓います。

グループコンプライアンス行動規範

この「グループコンプライアンス行動規範」は、業務遂行にあたり、法令及び社内規定の遵守はもとより、社会規範を尊重し、公正かつ適切な事業活動を行うための原則を示したものです。

- ① 法令・社会規範の遵守
- ② お客様からの信頼
- ③ 公正な事業活動
- ④ 適切な情報開示
- ⑤ 社会への貢献・責任
- ⑥ 環境問題への取組み
- ⑦ 人権尊重・健全な職場環境
- ⑧ 情報、知的財産権の管理
- ⑨ コンプライアンス体制の推進・改善

リスク管理

グループリスク管理規程

グループ各社において発生するリスクを適切に管理するための基本的方針を定めた「グループリスク管理規程」を制定しています。このリスク管理規程に基づき、グループに影響を与えるさまざまなリスクについて、適切に情報を把握し処理を行うことにより、

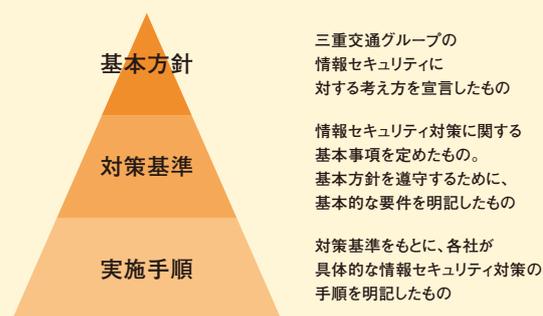
これを未然に防止するとともに、万一発生した際の損害を最小限にとどめます。また、情報セキュリティポリシーに基づき、グループ各社において具体的な情報セキュリティ対策を定める「情報セキュリティ実施手順」を制定しています。

三重交通グループ情報セキュリティポリシー

グループ各社において発生するリスクを適切に管理するための基本的方針を定めた「グループリスク管理規程」を制定しています。このリスク管理規程に基づき、グループに影響を与えるさまざまなリスクについて、適切に情報を把握し処理を行うことにより、これを未然に防止するとともに、万一発生した際の損害を最小限にとどめます。

また、情報セキュリティポリシーに基づき、グループ各社において具体的な情報セキュリティ対策を定める「情報セキュリティ実施手順」を制定しています。

三重交通グループ情報セキュリティポリシー体系図



安全・
安心への
取組み

自信と誇り

安全・安心を心がけ使命感を持って
仕事に臨んでいます。



三重交通グループの 新型コロナウイルス感染防止対策



三重交通グループ各社では、お客様と従業員が安全・安心に過ごせるよう、
新型コロナウイルス感染防止対策をそれぞれ行っています。

運輸業

各バス会社の取組み

三重交通(株)	名阪近鉄バス(株)	三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株)	八風バス(株)	

車両の対策 抗菌・抗ウイルス加工の実施

三重交通グループバス会社全社において、保有する全車両の抗菌・抗ウイルス加工を実施しています。次亜塩素酸ナトリウムと抗菌・抗ウイルスの成分を配合した除菌剤を噴霧器等により施工。加えて車内でお客様が手を触れられる箇所(手摺・肘置き・シートベルト・握り棒等)にコーティング剤を塗布しています。このコーティング剤は、抗菌製品技術協議会(SIAA)の安全性基準に適合したもので、効果は約5年間持続します。



除菌作業

消毒作業

抗菌・抗ウイルス加工

加工済みステッカー



三重交通(株) 三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株) 八風バス(株)



名阪近鉄バス(株)

- ・お客様と乗務員相互間の飛沫感染を徹底するため、運転席の周囲にビニールカーテンを設置しています。
- ・外気導入空調や窓の一部開放、プラズマクラスターイオン発生装置(一部の高速バス・観光バスに設置)の使用等、車内換気を実施しています。



飛沫防止カーテンの設置

従業員の対策を実施

全従業員が、手洗い・うがい・アルコール消毒液による消毒を励行しています。さらに、乗務員・窓口係員はマスクの着用を徹底。乗務員の出勤時及び始業点呼時に体調の確認、検温を実施する等、健康管理を徹底しています。



アルコール消毒液による消毒



検温の実施

お客様へのお願い

貸切バスにおいては、以下の対策についてお客様にご協力いただいています。

- ・乗車中のマスク着用、手指の除菌
- ・貸切バス等の原則、運転士側座席1列目利用停止のお願い
- ・湯茶サービス、カラオケ利用の中止
- ・バスガイドは原則、前向き(着席)にてご案内
- ・お客様への車内で出たゴミの各自処分をお願い



タクシー車内の感染症対策の実施

(株)三交タクシー

(株)三交タクシーでは、全車内に抗菌・抗ウイルス加工を施しました。また、走行時に窓を開けて走行する旨を伝えるステッカーを貼付しています。さらに乗務員の出勤時の検温、体調管理、マスクの着用、定期的な車内消毒、トレイを使った料金收受を実施しています。



ステッカー

不動産業

対面を避けた見学会・相談会の実施

三交不動産(株)

三交不動産(株)の注文住宅事業「三交ホーム」では、6月よりすべての展示場で、ビデオ通話やお電話・メール等を利用した土地探し相談やプラン相談をしていただける「#お家DE家づくり相談会」を受け付けています。また、戸建分譲団地「杜の街」「サクシードヒルズ高岡台」では、車に乗ったまま受付をし、貸切でモデルハウスをご覧いただく「ドライブスルー見学会」を開催しました。



物件案内時には、1m以上の間隔を空けてご案内しています。



電解水生成器の設置

(株)三交コミュニティ

(株)三交コミュニティでは、名古屋三交ビル地下に「電解水生成器」を導入しました。アルカリ性電解水を洗浄作業に、酸性電解水を除菌作業に活用しています。



流通業／レジャー・サービス業

消毒・検温の実施

各所に消毒液を用意し、定期的に共用部分の消毒を行っています。



ガソリンスタンドの共用操作部の消毒
(三重交通商事(株))



ゴンドラ消毒
(御在所ロープウェイ(株))

各施設では、消毒液の設置に加え、ホテル・ゴルフ場など一部施設で、お客様へ検温・アンケート回答のご協力等をお願いしています。



出入り口、各教室前に自作の足踏みペダル消毒器設置
(株)三交ドライビングスクール



検温器・アンケート用紙

(鳥羽シーサイドホテル(株))

ソーシャルディスタンスの呼びかけ

お客様と対面で接するフロントや販売コーナーにはアクリルパネルまたはビニールカーテンを設置しています。



ドライブインレストラン(三交興業(株))

ホテルのエレベーターや喫煙室、ランドリーコーナー等の共有部分には、混雑時の利用を避ける案内を設置し、お客様が密にならないよう注意喚起を行っています。また、各施設のフロント前や乗り場、食事場所でも密にならないよう注意喚起を行い、列や椅子の間隔を空けていただくための工夫を取り入れています。



ランドリーコーナー、エレベーターでの注意喚起((株)三交イン)



食事会場
(鳥羽シーサイドホテル(株))

各社独自の取組み

鳥羽シーサイドホテル(株)では、ビュッフェ形式のものは、一部料理をラップをかけて小分けしてご用意し、温かいお料理は衛生管理をしたスタッフによる食器への盛り付けサービスで対応しています。会席料理は後出し料理を少なくして対応しています。(株)三交インでは、ホテルの周辺飲食店と提携した「地元名物料理のデリバリーサービス」を2020年6月から開始しています。感染リスクの抑制とともに、地元飲食店の活性化にもつなげていきます。



食事会場
(鳥羽シーサイドホテル(株))



船元直送居酒屋満船屋
(三交イン伊勢市駅前提携店)

三交ウェルフェア(株)が運営するサービス付き高齢者向け住宅「ウェルフェア桑名」では、感染防止対策として、不要不急の入居者の外出及びご家族・関係者の入館の自粛をお願いし、入館時には検温・消毒・マスク着用を徹底しています。また、職員・入居者は毎朝検温する他、手洗い・消毒を例年以上に徹底。利用者とともに布マスク作りにも取り組んでいます。



入口(ウェルフェア桑名)

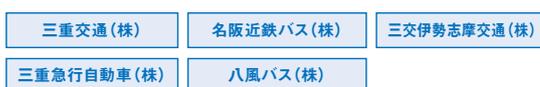


その他、従業員の対策として各会社にて、テレワーク・WEB会議を推進しています。

バス事業の取組み



三重交通グループは絶えず安全性の向上に努めて運輸事業を行うため、運輸安全マネジメントを導入し、取り組んでいます。ここでは、三重交通(株)及び名阪近鉄バス(株)における2019年度の取組みの内容を一部紹介します。なお、今回紹介します安全・安心を提供するための各取組みは、グループすべてのバス会社にてそれぞれ実施しています。



三重交通(株)

社長方針

- 1 無事故は使命
- 2 思いやりとプロの自覚

取組み事項

- 1 事業活動においては、お客様の安全確保を第一に考えます。
- 2 安全確保のため、日ごろから危険要因の排除に努め、安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(PDCA)を確実に実施します。
- 3 安全に関する教育、研修、訓練等を積極的に実施します。
- 4 常に安全意識を高く持ち、社会の変化に対応した体制を構築し、法令遵守を徹底します。
- 5 事故、災害が発生した場合には、お客様の救護を最優先に行うとともに、関係機関との連携を密にし、被害の拡大防止と早期復旧を図り、輸送の安全に関する情報については積極的に公表いたします。
- 6 管理の受委託において、委託者及び受託者は相互に協力、連携して輸送の安全の向上に努めます。

情報共有及び

報告・伝達のための会議を開催

社内及びグループ会社が一堂に会し、定期的に各会議を開催。輸送の安全に関する情報の共有及び報告・伝達に努めています。

- 常務役員会
月2回事故の発生状況、安全対策、運動の実施結果等の報告
- 所長会議
年4回輸送の安全に対する取組み及び課題の共有
- 事故防止対策委員会
年5回安全輸送とサービス向上運動の基本方針と通年重点施策の策定、事故原因の分析及び再発防止策の検討等
- 所長・区長・事業所長会議
必要時に臨時開催(再発防止策の指示等)
- 区長・事業所長会議
年4回に加え必要時に臨時開催、事故防止対策委員会での決定事項の周知、各営業所運行管理者への取組みの周知等

- 整備担当者会議
年4回(2019年度実績) 法改正と故障事例による整備基準の見直し、路上故障皆無に向けた情報共有等
- 乗務員講習会
年4回安全輸送とサービス向上運動に向けた具体的な取組みの周知等

「安全輸送とサービス向上運動」の実施

事故防止と接客向上を目指して、春・夏・秋・年末年始の年4回の「安全輸送とサービス向上運動」を実施しています。運動の取組み内容を記載した資料を全社員に配布し、安全意識の向上とサービス向上の周知を図りました。

会社トップによる職場巡視の実施

社長、副社長及び安全統括管理者が、受託営業所ならびにグループ会社を含めた全営業所に対して職場巡視を実施しています。



社長による職場巡視

法令遵守に向けた取組み

- ① 運転記録証明書を取得(社員1,800名)
- ② 飲酒運転及び運転免許証有効期限切れと不携帯の防止
- ③ 違法薬物使用の防止

危機管理ならびに リスク管理の取組み

乗務員講習会において、緊急時の対応マニュアルを周知するとともに、様々な異常時に対する研修、訓練を実施しています。

- ① 緊急時対応マニュアルの周知
テロ・バスジャック対応マニュアル、大規模地震発生時、バス運行時の緊急対応マニュアル等を周知しています。
- ② テロ対策巡回等の実施
- ③ 救急救命訓練の実施
消防等関連機関の指導によるAED等を使用した、救急救命及び緊急対応訓練を各営業所で実施しています。
- ④ 火災発生時の対応訓練の実施
車両火災発生時における、消火訓練及び非常時における車両からの緊急脱出訓練等を各営業所で実施しています。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策の周知
感染防止対策を周知するとともに、バス車内の外気導入ならびに窓開けによる換気、車両の消毒、運転席飛沫感染防止シート等を装着することで感染予防に取り組んでいます。



不審者対応訓練の様子



火災発生時対応訓練

健康管理等の対策

安全に影響を及ぼす可能性のあるリスク要因の低減のため、健康管理対策を行っています。

- ① 全運転士の定期健康診断の受診、診断結果の把握とともに再検査等の受診指導を実施
- ② 63歳以上の運転士に対して、脳ドックを実施
- ③ 定期的な睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施
- ④ 保健師による個別健康相談指導の実施
- ⑤ 健康調査票による日常の健康状態の把握(年4回)
- ⑥ 日常の健康管理(新型コロナウイルス感染症対策を含む) 点呼時の健康状態の聞き取り、始業・終業時の検温等
- ⑦ ストレスチェックの実施

輸送の安全に関する教育・研修

- ① 社内研修の実施(統括運行管理者研修、運行管理者研修、初任運行管理者研修)
- ② 社外研修の受講(独立行政法人自動車事故対策機構による運行管理者一般講習・運輸安全マネジメントセミナー、国土交通省主催のセミナー等)
- ③ 中距離高速路線バス運転士養成研修
- ④ 運転士補習教習
- ⑤ シニア運転士教習(再雇用運転士)
- ⑥ 雪上走行訓練(座学及び夜間走行、雪上での実技訓練)
- ⑦ 貸切バス運転士養成教習
- ⑧ 主事運転士研修・貸切運転士研修
- ⑨ 事故・苦情惹起者再教習
- ⑩ 社外研修機関における研修
- ⑪ 新規採用運転士養成研修
- ⑫ 運転経験1年未満運転士フォローアップ研修



運行管理者研修



安全運転研修車
(2018年度導入)



新人運転研修用映像の活用
(2018年度導入)

輸送の安全に関する投資 (2019年度実績)

バスの運行管理を適切に維持し、安全性をより高めるために、バスの機能維持・向上の投資を行いました。

- ① 通信型ドライブレコーダー
- ② バス停着車講習用歩道の設置(研修所敷地内)
- ③ 個人用貸与(高性能)アルコール検知器の代替
- ④ ASV(先進安全自動車)搭載車両の導入
- ⑤ 運行支援システム
- ⑥ 乗合ノンステップ車両の導入

名阪近鉄バス(株)

輸送の安全に関する基本的な方針(名阪近鉄バス安全方針)

- 1 輸送の安全の確保が事業経営の根幹
- 2 安全輸送に関する関係法令等の遵守
- 3 安全マネジメント体制の継続的改善等の実施
「安全の確保」を最優先に、
「ぬくもり・おもてなし」の心で接遇し、
お客様に信頼され、選ばれるバス会社を目指します。

取組み事項

- 1 「輸送の安全確保が最も重要である」という意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守します。
- 2 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- 3 輸送の安全に関する内部監査を実施し、必要な是正・改善措置又は予防措置を講じます。
- 4 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達、共有します。
- 5 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を作成し、これを的確に実施します。

所長・整備長の会議を開催

- 所属長会議 7月・9月・12月・2月
- 事故防止委員会 月1回(定例)
- 運行管理者会議 4月・9月・12月・2月



所属長会議

輸送の安全に関する投資 (2019年度実績)

輸送の安全に関する投資を下記の通り実施しました。

- ①乗務員教育訓練、講習会の実施
- ②最先端の安全性を備えた新車導入
- ③ドライブレコーダーのリアルタイム通信化
- ④IP無線機の導入(貸切バス)
- ⑤モバイルアルコール検知器の校正
- ⑥シートベルト着用案内装置の導入(貸切バス)
- ⑦安全運転支援強化(eラーニング)

輸送の安全に関する情報の連絡体制の確立

毎月1回、事故防止委員会にて安全に関する情報の伝達及び共有を図るほか、社内LANシステムを活用し、運行管理及び運行に関する情報を全社で共有しています。

輸送の安全に関する教育研修

輸送の安全に関する教育及び研修に関わる具体的な計画を作成し、実施しています。

- ①フォローアップ研修(9月・3月)
- ②事故惹起者研修(9月・3月)
- ③冬季運転研修(1月)
- ④安全運転中央研修所(外部機関)(7月・9月・12月・1月・2月)
- ⑤名鉄自動車学校(外部機関)(1月)
- ⑥株式会社インソース(外部機関)(8月・1月)

乗務員年間指導教育計画

乗務員年間指導教育計画に基づき、月毎の指導項目について、乗務員に対し安全教育を実施しています。



バスジャック訓練



救急救命訓練

労務管理等の徹底

運行管理システムを活用し、運転士の拘束時間・乗務時間・連続運転時間・走行距離・休憩時間等の管理を行っています。

ヒヤリ・ハット体験の収集

2月をヒヤリ・ハット強化月間と定め、運転士からのヒヤリ・ハット情報を集計し、今後の事故防止対策を作成。事故の未然防止に役立てています。

飲酒運転の撲滅

運転士にアルコール検知器を貸与し、出勤前に自宅にてアルコール検査を実施。自家用車においても飲酒運転の防止を図っています。

運行管理者補助者研修会の開催

運行管理補助者全員を対象に研修会を開催し、運行管理業務のさらなる向上を目指しています。



ドライブレコーダーの映像を活用した指導の実施

全車両に装備したドライブレコーダーからヒヤリ・ハットや事故の映像記録を収集し、ヒヤリ・ハットや事故に至った原因及びそれに関する要因について分析。再発防止策を構築し、交通事故の防止に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症予防対策

新型コロナウイルス感染症の予防に努めています。

- ①マスクの配布
- ②消毒液の設置(乗務員個人携帯・車両搭載・車両清掃)
- ③非接触型体温計を全営業所に設置

その他の取組み



スキーバス講習の実施

三重交通(株)	名阪近鉄バス(株)	三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株)	八風バス(株)	

三重交通グループバス会社全社では、毎年スキーバス講習を行っています。名阪近鉄バス(株)では、毎年志賀高原にて冬季雪上運転訓練を行っています。事前に各営業所にてチェーンの着脱を完全にマスターした後、講習に参加。現地では着脱訓練や安全な場所でのノーチェーン走行と雪上走行を体験する等、チェーンの重要性と雪道での運転技術を学び、安全運転の向上に努めています。三重急行自動車(株)では、冬季の厳寒地方及びスキー輸送に備えて、積雪・凍結路ならびに山間路線での輸送の安全確保及びスキルアップを目的に夜行1泊3日の雪上走行訓練を実施しています。夜間走行、現地積雪路においてのチェーンの脱着、雪上走行等の実習を行い、雪道走行に対するスキルアップに努めています。



名阪近鉄バス(株)のスキーバス講習



三重急行自動車(株)のスキーバス講習

避難訓練・消火訓練の実施

八風バス(株)

八風バス(株)では、バス運行中の不慮の事故または災害等に遭遇した際に、お客様の安全を最優先した冷静かつ的確な判断及び行動が実践できるよう、避難訓練及び消火訓練を実施しています。



非常扉開閉訓練

安全・安心まちづくりに関する協定を締結

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、2019年5月に大垣警察署と「安全・安心まちづくりに関する協定」を締結。路線バス車内や大垣駅前案内所でのポスター掲示、車内アナウンスや行先表示器等で二セ電話詐欺被害をはじめとした各種犯罪への未然防止や交通事故抑制の啓発活動を行っています。



ドライバー異常時対応システム搭載の新型バス導入

三重交通(株) 名阪近鉄バス(株)

三重交通(株)と名阪近鉄バス(株)は、バス車内安全性向上のため、順次「ドライバー異常時対応システム(EDSS:Emergency Driving Stop System)」を搭載した新型バスを導入しています。

三重交通(株) 観光バス5両・路線バス11両・高速バス6両

名阪近鉄バス(株) 観光バス19両・リフト付大型観光バス2両
路線バス3両・高速バス1両

(2020年10月時点)



EDSS装置



EDSS発動時

※ドライバー異常時対応システム(EDSS)とは、運転中の運転者の健康状態が急変し運転の継続が困難になった場合に、緊急措置として運転者自身もしくは乗客が車内にある非常ブレーキスイッチを押すと、自動的に制動を開始し徐々に速度を落としてバスを緊急停止させるシステムです。

特殊詐欺被害防止広報啓発バス

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社は、三重県警察・関係機関・民間事業者の連携による県民向けの特殊詐欺被害防止の啓発を行うため、公益社団法人三重県バス協会の依頼のもと、2019年12月より主に県内を走る路線バス500両にバスマスクや車内啓発ポスターを貼り啓発活動を行っています。



貸切バス事業者安全性 評価認定制度「3つ星」継続認定

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社は、2019年12月に公益社団法人日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」において、最高ランク「3つ星」認定を継続取得しました。当社グループバス各社においては、2011年度の認定取得後も安全確保に取り組み、2013年9月には「2つ星」を、2015年9月には安全への取り組みが評価・認定され、最高ランクである「3つ星」を取得しています。今後も、皆様に「安全・安心・安定・快適なサービス」を提供できるよう、より一層の安全管理に取り組んでまいります。



SSS(スリーエス)乗務員認定制度

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)は、乗務員の技能向上の一環として、SAFETY(安全)・SERVICE(おもてなし)・SKILL(技術)の3つの分野において優れた乗務員を認定する社内制度を設けています。認定者対象の研修を実施し、さらにサービス接客検定、おもてなしスキルスタンダード認定を取得する等、安心・安全にご乗車いただけるよう、より一層のサービス品質向上に取り組んでいます。



24時間対応フロントと 安心のセキュリティー

(株)三交イン

(株)三交インの運営するビジネスホテルでは、24時間対応フロントを設置し、緊急時でも安心してご宿泊いただけます。客室にはセキュリティーの高いカードキーを採用し、深夜の入館時にもカードキーをご利用いただくことで、夜間の安全も確保しています。



防火訓練の実施

鳥羽シーサイドホテル(株)

鳥羽シーサイドホテル(株)は毎年防火訓練を行っており、2020年度は9月に実施しました。岬亭5階から出火したという想定で、鳥羽消防署の指導のもと、消防署への通報、館内への連絡、宿泊客の避難誘導といった一連の流れを訓練しました。最後に、新入社員らが実際に消火器を使った消火訓練を行いました。



救助訓練の実施

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)は、事故、災害等の緊急事態に備え、社員による救助訓練を実施しています。2019年度は7月に搬器からの降下訓練、6月・9月に徒歩下山道の確認等を行いました。



空き家・空地巡回 管理サービスの展開

三交不動産(株)

三交不動産(株)リフォーム事業部では、日常的に生活していない住宅や土地を巡回し、郵便物確認、雑草や庭木の確認等を行う「空き家・空地巡回管理サービス」を展開しています。遠方へお住まいで土地の様子を頻繁に見に行けない、忙しくて確認する時間がない、というお客様に向けたサービスで、植栽管理や簡易な清掃作業等のオプションサービスも行っています。空き家・空地の状態を確認し、安全に保つことは、周辺環境の安全性向上、所有者様の負担軽減になります。

環境への
取組み

自然に寄り添う

豊かな自然、歴史を
未来へ繋いでいきます。

バス事業の取組み



グリーン経営認証の取得

三重交通(株)

三重交通(株)は、自主的な環境保全活動に関する認証制度「グリーン経営認証」の取得を推進しています。グリーン経営認証は、国土交通省の外郭団体「交通エコロジー・モビリティ財団」が認証機関となり、「環境保全のための仕組み・体制の整備」「エコドライブの実施」「低公害車の導入」等の6項目について、一定レベル以上の基準を満たす事業所に対して認証及び登録を行う制度です。2012年から名古屋・名古屋観光営業所、四日市・北部観光営業所、中勢・中部観光営業所の各営業所で取得し、2020年3月には本社でも認証を取得しました。



環境定期券制度の実施

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社では、環境定期券制度を実施しています。普段定期券でバスをご利用いただくお客様が、土曜・休日に定期券区間外へレジャーやショッピングにお出かけの際、運賃を通常の半額に設定することで、マイカー利用を少しでも減らし、バスの利用促進を図ろうとする制度です。この制度により、市内中心部の交通渋滞の緩和や排気ガスの抑制等を図り、環境保全に努めています。

環境にやさしい電気バス

三重交通(株)

三重交通(株)では、国、三重県、伊勢市が推奨する「低炭素なまちづくり」の実現に向けて、2014年3月から全国でも先駆けとなった「大型電気バス」を伊勢市内で運行しています。電気バスは、ディーゼルバスが1日6往復で1年間走行した場合と比べ、杉の木945本が吸収する量に相当するCO₂(12トン)を削減できます。2020年3月には、バスボディと車内に施した「ポケモン」のデザインを新しいでんきタイプも加えてリニューアルし、より楽しく思い出に残る旅にさせていただくとともに、本取組みのさらなる浸透を図っています。



©2020 Pokémon. ©1995-2020 Nintendo/Creatures Inc. /GAME FREAK inc.

ハイブリッドバスの導入

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三重交通(株)では、2013年10月より「ハイブリッドバス」を積極的に導入し、運行しています。このバスはエンジンとモーターが効率よく働くパラレル式ハイブリッドシステムを搭載し、エネルギー効率の高い環境性能に優れた低公害車で、環境にやさしい設計となっています。



導入実績
 2013年度・中勢営業所5両 2017年度・四日市営業所2両
 2016年度・伊勢営業所2両 2018年度・南紀営業所3両

名阪近鉄バス(株)においても、2014年度に若森営業所へ1両導入しています。



連節バスの導入

三重交通(株)

三重交通(株)では、2020年10月、11月にそれぞれ1両(計2両)のハイブリッド連節バス(いすゞ自動車製)が伊勢営業所に納車されました。2020年12月から伊勢市外宮内宮線でプレ運行、さらに2021年4月から本格運行を予定しています。導入にあたっては、2019年9月に同車種にて試験運行を実施し、走行環境や道路状況等の調査を実施しました。連節バスは通常の大形バスに比べて約7.5m長く、乗車定員も約40人増加するため、輸送効率が向上し、公共交通機関の利用促進や、観光交通の渋滞軽減等を期待しています。



2020年10月導入車両

その他環境にやさしいバスの導入

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社全社では、その他様々な低公害車を導入し、環境対策に積極的に取り組んでいます。

排気ガスや燃料消費を抑制するために、バス停や信号待ち等で自動的にエンジンを停止させる「アイドリングストップバス」を採用しています。

Nox(窒素酸化物)やPM(粒子状物質)の排出量がより少ない低排出ガス車(低排出ガス認定車)等、最新排出ガス規制適合車を積極的に導入しています。
(平成27年度燃費基準15%向上達成車、「ポスト・ポスト新長期排出ガス規制」適合車等)

パーク&バスライドでシャトルバスを運行

三重交通(株)

三重交通(株)では、新春及びゴールデンウィーク等の伊勢神宮参拝客に対するパーク&バスライド実施期間中、シャトルバスを運行しています。これはマイカーを三重県営サンアリーナ周辺の駐車場へ駐車し、そのお客様を伊勢神宮(浦田駐車場及び外宮)までの間、バスで送迎を行うシステムです。観光交通の渋滞を緩和でき、二酸化炭素排出の軽減や温暖化防止に繋がっています。



燃費コンテストの実施

三重交通(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社4社は、2019年6月1~30日、11月1~30日の各期間において燃費コンテストを実施しました。本コンテストは、バスの燃費向上・エコドライブの意識付けを目的に実施しており、各営業所・各社ともに前年比燃費2%向上の目標を掲げて取り組みました。



その他事業の取組み



太陽光発電事業を推進

三交不動産(株)

三交不動産(株)は「伊勢二見メガソーラー光の街」等28ヶ所での発電事業に加え、2020年10月に「津メガソーラー杜の街中勢バイパス発電所」(点在する5発電所の総称)が運転を開始しました。発電規模は114メガワット、年間発電量は約14,013万kWhとなり、約38,900世帯分の一般家庭消費電力量に相当します。



津メガソーラー杜の街中勢バイパス発電所

バス営業所での太陽光発電

三重交通(株)

三重交通(株)は、2017年6月に四日市営業所、9月に中勢営業所、11月に伊賀営業所において、バス駐車場に上屋及び太陽光発電設備を設置。3ヶ所の年間総発電量は約210万kWhになります。太陽光発電設備を備えた上屋設置の利点として、荒天時の点検等の作業環境の向上や、バス車両の夏季冷房負荷軽減、冬季の霜対策、塗装保護があります。さらに、太陽光発電による売電収入で設備投資の回収や、再生可能エネルギーの利用普及を期待しています。



中勢営業所

※世帯数、発電所数は各社の基準により算定しています。

ZEH住宅への取り組み

三交不動産(株)

三交不動産(株)ではZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)登録ビルダーとしてZEH住宅の普及に積極的に取り組んでいます。家庭での消費エネルギーが増加傾向にある今、政府のエネルギー基本計画では「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均でZEHを目指す」とされています。三交不動産(株)の注文住宅では、標準仕様の外断熱工法でZEH断熱基準にしっかりと対応しています。今後も政府が定める「エネルギー基本計画」に基づき、事業目標を掲げ、省エネ・エコ住宅の普及拡大に努めていきます。



ZEHとは、
省エネ+創エネで
消費エネルギーが
実質ゼロとなる
住まいです。

ZEHに認定される性能基準

断熱性能

平成25年度省エネ基準を満たした上で、外皮熱貫流率(UA値)が0.6[W/m²k]以下

三交不動産(株)
「三交ホーム」の標準断熱性能は、
ZEHの断熱基準に対応



省エネ性能

給湯、照明、冷暖房設備等、
エネルギー消費量から20%以上削減できる



創エネ性能

太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入し、
エネルギー消費量から100%以上削減できる

省資源化への取り組み

(株)三交イン

(株)三交インでは、「楽しくECOを考えます」のスローガンのもと、客室へのアメニティ設置はせず、フロントで「必要なものだけ」を自由に選べる「アメニティBAR」をご用意しています。また、連泊されるお客様に対し、ご希望があれば「清掃不要」を手軽に宣言いただけるよう、マグネットステッカーをご用意しています。



アメニティBAR 「清掃不要」マグネットステッカー

生分解性ストローの導入

鳥羽シーサイドホテル(株)

鳥羽シーサイドホテル(株)では、トウモロコシ等のでん粉から得られる乳酸を原料とした植物由来の自然循環型の「生分解性ストロー」を導入しました。



「みえ生物多様性パートナーシップ協定」締結

三交不動産(株)

三交不動産(株)は「みえ生物多様性パートナーシップ協定」における絶滅危惧種カワバタモロコの保護活動の一環として、2019年4月21日に大仏山メガソーラー発電所内のビオトープへカワバタモロコを放流しました。放流当日は、三重大学、鳥羽水族館、地元小学校のお子様をはじめ約50名にご参加いただき、三重大学生物資源学部の河村功一教授にカワバタモロコの生態等についてご説明いただきました。



太陽光利用型環境制御ハウスで「高糖度ミニトマト」生産

三交不動産(株)

三交不動産(株)は、市場規模が大きく、また差別化を図ることのできる「高糖度ミニトマト」に着目し、農業ベンチャー企業の(株)OSMIC様と業務提携いたしました。太陽光利用型環境制御ハウスでの通年栽培により、年間75トンの生産量を目指し、2020年8月に栽培を開始し、9月より出荷を開始しました。この事業への進出により、地域の雇用創出をはじめ、耕作放棄地の活性化等、地方創生の貢献にも繋がることを期待しています。



OSMIC

記念植樹祭

ミドリサービス(株)

ミドリサービス(株)は、2020年3月に、名阪近鉄バス(株)創立90周年記念植樹祭を行いました。植樹祭では、名阪近鉄バス(株)松田前社長をはじめ、大垣市市役所都市施設課の職員様にもご参加いただき、大垣市の市花であるツツジの苗木230本を植樹いたしました。2021年にはミドリサービス(株)も創業70年を迎えます。さらなる地域社会へ貢献できる企業を目指します。



社会への
取り組み

地域社会を 支える

人と人の絆を大切にして、
地域社会を支え続けます。



お客様のために



バリアフリーバスの導入

三重交通(株)	名阪近鉄バス(株)	三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株)	八風バス(株)	

三重交通グループバス会社全社では、高齢化社会、福祉社会といわれる中、「人にやさしいバス」として、お年寄りや障がい者、お子様にも乗降しやすいノンステップバスや車いす対応バス、リフト付き観光バスを積極的に導入しています。



ノンステップバス・車いす対応バス



リフト付き観光バス(三重交通(株))

リフト付き観光バス(名阪近鉄バス(株))

ヘルプマークの啓発

三重交通(株)	名阪近鉄バス(株)	三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株)	八風バス(株)	

三重交通グループバス会社全社では、外見からは分からない障がいや病気の方への配慮や援助の必要を周囲に知らせる「ヘルプマーク」ステッカーを各路線バスのバス車内の優先座席付近に貼付し、啓発を行っています。



運転免許返納割引の実施

三重交通(株)	名阪近鉄バス(株)	三交伊勢志摩交通(株)
三重急行自動車(株)	八風バス(株)	

三重交通グループバス会社全社では、運転免許返納者を対象としたバス運賃割引制度を実施しています。

割引制度の内容(運転経歴証明書の提示が必要です)

- 1 本人及び同伴者1名のバス運賃が1乗車ごとに半額(他割引と併用不可)
- 2 フリー定期券「セーフティーパス」の購入が可能

※名阪近鉄バス(株)は①のみ

バリアフリー対策の推進

(株)三交イン

(株)三交インでは、ご高齢や障がいを持つお客様に安心してホテルでの滞在をお楽しみいただくための取組みを進めています。10ホテルでユニバーサルルームの提供やシャワーチェアを設置するほか、全店舗で車いすご利用のお客様のスムーズな移動のため、店舗出入り口のスロープ化、車いすの貸し出し等バリアフリー対策を推進しています。



ユニバーサルルーム

障がい者用の教習車両による教習を実施

(株)三交ドライビングスクール

(株)三交ドライビングスクールでは脱着可能な旋回式ハンドルノブや左足アクセル、レバー式のアクセル・ブレーキ車両等、身体の障がいに対応できる専用車両を備え、教習を実施しています。難聴者については、手話による学科教習を実施。また、建物の入口にスロープと手すりを設置し、車いすを使用する方へのバリアフリー化にも取り組んでいます。



旋回式ハンドルノブ、レバー式アクセル・ブレーキを備え付けた車両

バスロケーションシステムの拡充

三重交通(株)

三重交通(株)ではスマートフォンやパソコン、携帯電話から路線バスの現在位置が、すぐに確認できる三重交通バスロケーションシステム「Bus-Vision」を拡充しました。

検索対象
エリア

桑名／四日市／鈴鹿／亀山／津
2020年4月より伊賀・名張・松阪へ拡充
2020年11月より伊勢へ拡充

搭載機能

- ・多言語案内(英語・中国語「繁体・簡体」・韓国語)
- ・地図からの検索(最寄りバス停の表示)
- ・接近メール配信



スマートフォン画面

大垣市スマートシティ実現に向けた 共同実証実験プロジェクトを継続

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)では、2019年4月より実施中の大垣市スマートシティ実現に向けた共同実証実験プロジェクトにおける連携協力に関する協定が、好評につき2021年3月まで延長されました。大垣市、(株)ヴァル研究所様と共同で岐垣線においてバスロケーションシステム「BUS CATCH」を活用し、「路線バスの位置情報の提供に係る共同実証実験」を行いました。バス利用の利便性向上、利用活性化を目指し、今後も市民生活の向上に貢献していきます。



インバウンド向けバスの導入

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)では、主に訪日外国人客等の団体客に対応するため、大型ラゲージスペースやWi-Fi搭載、USBポートを設置した中型バス「ポーター」を導入し、利便性向上に努めています。



ポーター荷物室ドア

双方向通訳デバイス「ポケットク」導入

(株)三交イン

(株)三交インでは60ヶ国63言語に対応が可能な双方向通訳デバイス「ポケットク」を全店舗に導入しています。インバウンド利用客の宿泊時等、英語以外の言語の対応に「ポケットク」を利用することで相互の意思疎通がスムーズになりました。小型で軽量のため持ち運びも容易で、かつ翻訳スピードも速いため、インバウンド利用客からも好評をいただいております。



モバイル決済サービスの拡充

(株)三交クリエイティブ・ライフ

(株)三交シーエルツー

(株)三交クリエイティブ・ライフ、(株)三交シーエルツーがフランチャイズ展開する東急ハンズの各店舗ではモバイル決済を拡充し、現在はPayPay、LINE Pay、メルペイ、QUOカードPay、楽天ペイ、d払い、J-Coin Pay、au PAY、WeChatPay、Alipayの利用が可能となっています。キャッシュレスにより現金を取り出す手間がなく、支払いをスピーディーに済ませることができます。

モバイル決済お取り扱い一覧		
PayPay	R Pay	m Pay
LINE Pay	QUO Pay	d払い
J coin	au PAY	
微信支付	支付宝 ALIPAY	

バスにフリーWi-Fiを搭載

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三重交通(株)では、訪日外国人観光客をはじめとするお客様の利便性向上を目的として、公衆無線LANサービス「Miekotsu Free Wi-Fi」を全12路線で導入しています。また、三重県が推進する公衆無線LAN事業「FreeWiFi-MIE」及びエヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム(株)が提供する認証アプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」もご利用いただけます。



三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)では、観光バスのほぼ全車にWi-Fi機器を搭載し、無料利用サービスを提供しています。



名阪近鉄バス(株)

ホームページの多言語翻訳サービスを導入

三重交通(株)

三重交通(株)では、訪日観光客や在日の外国人のお客様にも最新のお知らせや旬な情報を提供していくため、2020年5月より外部翻訳サービス「Google翻訳」(英語、中国語「繁体・簡体」、韓国語)を導入しました。また、ホームページ内の路線バス「時刻・運賃検索」においても、運賃表示器に表示される停留所名の表現と統一することで、外国人のお客様への配慮を施し、あわせて全停留所の時刻表も表示しました。



タブレットを使用したガイド案内

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)では、観光バス車内で「Evernote Business」搭載のタブレットを使ったガイド案内を行っています。タブレットと車内モニターを連動させることで、観光地の案内や乗車についての注意事項等、車内全体に見やすく分かりやすい案内を心がけています。



お客様の期待を超える「感動エリア」の創造を目指して

三重県観光開発(株)

三重県観光開発(株)では、「PERFECTサービスの追求」をコンセプトに、好感度の高い接客や豊富な知識により、お客様の求めておられる以上の接客を心がけています。2020年2月に開催された中日本管内「第11回SA・PA接客コンテスト」においては審査員特別賞を受賞し、お客様からも多くのお褒めの言葉をいただいています。



産業観光バスツアーの実施

名阪近鉄旅行(株)

名阪近鉄旅行(株)では、地元中部圏における企業や産業の魅力、歴史を楽しく学べる「産業観光バスツアー」を実施しています。コースでは、生活を支える「ものづくり」の重要性の啓発や、文化的側面からの産業振興等社会的意義のある観光先を取り入れています。年間28回を実施し、900名以上のお客様にご参加いただきました。



産業観光バスツアーの様子

「バスの日」バス利用促進イベント

三重交通(株)

名阪近鉄バス(株)

三交伊勢志摩交通(株)

三重急行自動車(株)

八風バス(株)

三重交通グループバス会社全社では、毎年9月20日の「バスの日」を記念して、バスの利用促進PR活動を行っています。2019年は各バス会社が三重県内の主要駅(津駅、四日市駅等)や名古屋駅、大垣駅周辺で日本バス協会のキャラクターがあしらわれたグッズの配布を行う等、バスの利用促進を呼びかけました。



津駅前にて

株主・投資家の皆様のために

ホームページで情報を開示

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループでは、法令等に基づき必要な情報を適時開示しています。三重交通グループホールディングス(株)のホームページでは、IR情報や決算短信、有価証券報告書等をより一層詳しく迅速に公開するよう努めています。また、グループの最新ニュースもホームページ内で紹介しています。英語版サイトでは外国人投資家にも分かりやすく情報を公開しています。2020年3月にはスマートフォン対応のホームページにリニューアルし、よりご利用いただきやすくなりました。



スマートフォン画面

ビジネスレポートの発行

三重交通グループホールディングス(株)

事業報告書等をまとめた冊子「ビジネスレポート」を年に2回発行し、株主様にお送りするほか、ホームページでも公開しています。



株主総会の開催

三重交通グループホールディングス(株)

毎年株主様にご出席いただき、1年間の事業内容を映像やナレーションを用いて分かりやすく説明しています。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から検温や消毒、飛沫防止対策を実施の上、6月16日に津市センターパレスホール(三重県)において開催いたしました。



2020年度株主総会

機関投資家との対話

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)では、毎年2回、東京にて機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を行っています。当社経営者が、決算概要や業績予想、中期経営計画の進捗を説明し、質疑応答の時間を設け、投資家との建設的な対話を行っています。2019年度は、第2四半期決算について2019年11月27日に実施、通期決算については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、例年の東京での説明会は行わず、2020年5月27日に決算説明動画を配信しました。



従業員のために

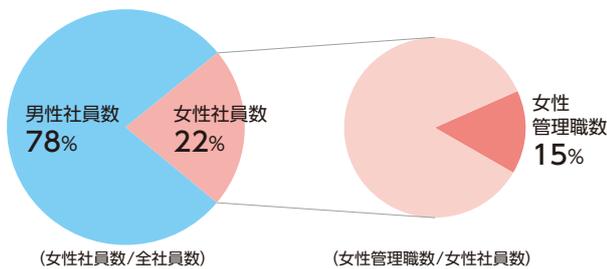


女性活躍推進

三重交通グループ

三重交通グループは業種が幅広く、女性が活躍できる職場が多く存在しています。そこで、女性活躍推進法に基づき、各社の実情に合わせ、女性比率の拡大や職場環境の整備等をはじめとした行動計画を2016年4月に策定いたしました。当社グループでは女性バス運転士採用強化のため、女性社員との対談の機会を設けた会社説明会を企画する等、積極的に取り組んでおり、今後も継続していく方針です。

■女性管理職割合



■女性管理職比率



人材育成

三重交通グループ

入社後、新入社員研修や、階層別、職種別研修等の各種研修のほか、資格取得支援制度や自己啓発通信教育制度の導入等、積極的に人材育成に取り組んでいます。また、社内では得ることのできない知識やノウハウの習得のため、多くの若手社員がグループ会社や、県等の社外機関への出向を経験しています。この経験が、柔軟で、情報力と行動力ある人材の育成に大きな効果を上げています。



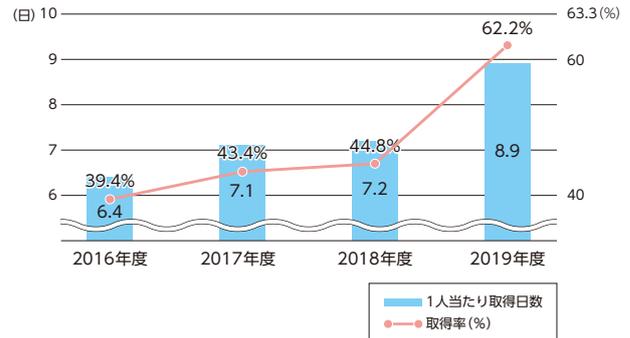
三重交通グループ新入社員フォローアップ研修

働き方改革

三重交通グループ

社員の心身の健康確保とワークライフバランスを推進し、長時間労働の抑制と年次有給休暇の取得促進に取り組んでいます。各社の実情に合わせ、ノー残業デーや時間単位の年次有給休暇取得、連続休暇の取得促進、RPA活用による業務効率化を行うことで、労働時間の削減や年次有給休暇の取得率向上を目指しています。

■年次有給休暇取得率

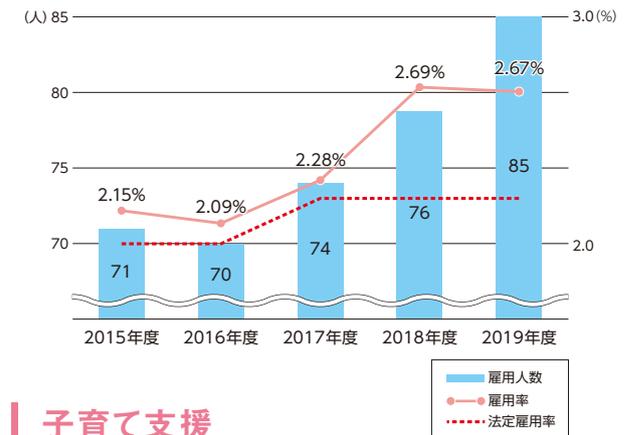


障がい者雇用促進

三重交通グループ

グループ全体(2020年3月末現在)で、85名を雇用し、障がい者雇用は2.67%であり、2018年度から新たに制定された法定雇用率(2.2%)を上回っております。障がい者はもとより、女性・高齢者・若年者等、多様な人材の一人ひとりがその能力を存分に発揮できるような就労環境を整えつつ、今後も全社を挙げて雇用促進を図っていきます。

■障がい者雇用率



子育て支援

三重交通グループ

人材の多様化への対応の一つとして、「子育て支援」にも取り組んでいます。具体的には、家族手当の支給額見直し、育児休業制度の改正等を実施しており、男女共に活躍し、いきいきと働ける職場環境づくりに取り組んでいます。この結果、三重交通(株)においては2019年に三重県より「みえの働き方改革推進企業」認証を取得いたしました。

外国人労働者の雇用促進

三重交通グループ

当社グループでは、現在8社において技能実習生、また、正社員・派遣受入れといった形で外国人労働者が在籍しています。労働人口が減少し続ける中、2019年4月に入出国管理法が改正され、外国人労働者の受入れは人手不足を解消する手段の一つとして、今まで以上に注目されています。当社グループにおきましても各社において状況に合った受入れ体制を検討し、前向きに取り組んでいきます。

(株)三交コミュニティでは、2018年度よりベトナム出身の技能実習生の受入活動を開始し、2020年9月には18名にオフィスビルや商業施設、ホテルの清掃に従事していただいています。実習生に対しては、言語・食事・住居等、生活面でのサポートを行いつつ、清掃技術のみならず挨拶やお客様対応など、ビジネス上のマナーについても教育を施し、社会人としてふさわしい人格の形成に注力しています。

※外国人技能実習制度は、国内で培われた技能や知識の発展途上地域への移転を図り、当該発展途上地域等の経済発展を担う「人づくり」に寄与することを目的として創設された制度です。



ベトナム人技能実習生

外国人労働者在籍数(2020年3月時点)

会社	職種	人数	国・地域
名阪近鉄バス	正社員	2	中国
	技能実習	14	ベトナム
三交コミュニティ	パート	7	中国(2)
			インドネシア(2)
			ホンジュラス(1)
			台湾(1) ベトナム(1)
三重交通商事	パート	1	ベトナム
三交クリエイティブ・ライフ	パート	3	中国
三重いすゞ自動車	正社員	3	ベトナム(1)
			中国(1) ネパール(1)
	派遣	2	ベトナム(1) ブラジル(1)
鳥羽シーサイドホテル	正社員	1	台湾
	パート	1	中国
名阪近鉄旅行	正社員	1	中国
	パート	9	中国(4)
			台湾(2) タイ(3)
三交ウェルフェア	パート	1	ペルー

安全衛生

三重交通グループ

三重交通グループでは、新型コロナウイルス感染症対策として安全な職場環境を整える取組みを実施しています。具体的な内容として、マスクの支給、時差出勤・テレワーク等の実施、勤務場所の変更、休業指示、ビデオ会議等の活用を行っています。従業員の安全を最優先する取組みを行ってまいります。

パワハラ・セクハラセミナーを開催

三重交通グループ

2019年10月～2020年2月にかけて延べ19回、名古屋・四日市・津・伊賀・伊勢の各地区にてグループ各社全管理職を対象に「パワハラ・セクハラセミナー」を開催しました。



愛知県ファミリー・フレンドリー企業

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)では社員のワーク・ライフ・バランスに取り組む企業として、2016年から「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」に登録されています。仕事と生活の両立ができるよう、制度の整備や研修等を行っています。



従業員の資格取得をサポート

(株)三交ドライビングスクール

(株)三交ドライビングスクールでは従業員の資格取得のサポートとして、様々な車種の運転免許取得のための車両やコースの貸し出し、既得免許者を指導にあてる等、取得の支援を行っています。また、免許取得後は、当該車種の教習指導員資格、技能検定員資格の取得もあわせて免許取得時同様に支援をしています。



大型免許等の資格取得をサポート

地域のために



「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」へ入会

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、2020年8月、内閣府がSDGsの国内実施を促進するための官民連携の場として設置した「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」へ入会しました。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

「パートナーシップ構築宣言」を公表

三重交通グループホールディングス(株)

三重交通グループホールディングス(株)は、内閣府及び中小企業庁が推進する「大企業と中小企業の共存共栄関係の構築」の趣旨に賛同し、2020年10月にサプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携や、親事業者と下請事業者の望ましい取引慣行の遵守等を盛り込んだ「パートナーシップ構築宣言」を公表しました。



「新型コロナ克服みえ支え“愛”募金」へ寄付

三重交通グループ

三重交通グループでは2020年5月、新型コロナウイルス感染症の治療にあたる医療関係者らを支援しようと三重県が立ち上げた「新型コロナ克服みえ支え“愛”募金」へ、三重交通グループ役員有志と法人分をあわせて500万円を寄付しました。



寄付金贈呈式の様子

PCR検体輸送・患者輸送に協力

三重交通(株)

三重交通(株)では新型コロナウイルス感染症の患者増加に伴い、2020年5月18日より、PCR検査の検体輸送や感染症患者の輸送業務を三重県より受託しました。輸送車両は専用車両を使用し、それまで各保健所が行っていた業務を軽減させ、搬送業務などを強化する目的で協力しています。



患者輸送専用車両

三重とこわか国体・とこわか大会へ寄付・協賛

三重交通グループ

三重交通グループでは2021年に開催される「三重とこわか国体・とこわか大会」へ寄付及び協賛をし、国体・大会パートナーを務めることとなりました。寄付・協賛金は、両大会の運営経費や競技力向上に活用され、三重県や地域とともに大会を盛り上げていく予定です。



寄付・協賛金贈呈式の様子

オリジナル「ヘッドレストカバー」を採用

三重交通(株)

三重交通(株)では2020年1月から「名古屋上野高速線」「高速伊賀大宮線」の一部車両に、おぼろタオル(株)様から提供いただいたオリジナルヘッドレストカバーを採用しました。このヘッドレストカバーは伊賀上野をイメージした手裏剣柄をあしらひ、自動車内装品として必要な難燃性・耐久性を満たしながらも、繊細かつ心地よい肌触りが特徴です。県外のお客様に地元製品の良さを知ってもらい、伊賀上野のPRにも繋げていきます。



バスの乗り方教室を開催

三重交通(株)

三重交通(株)では園児、小学生とその保護者を対象に、バスの乗り方教室を随時開催し、行先表示の見方、バスの乗降の仕方や車いすの乗車体験等を行っています。その他、運転士の点呼風景の見学、洗車体験の実施、整備工場の見学等、普段体験できないバスとの繋がりを体験していただいています。高齢者を対象とした教室も随時開催しており、バスに安全にご乗車いただくための適切な利用方法を、体験を交えながら学んでいただいています。



乗り方教室の様子

自動運転実証実験への協力

三重交通(株)

桑名市では、交通ネットワークの機能強化及び地域活性化を促進するため、従来のバスシステムに代わる自動運転バスを軸とした新たな交通ネットワークの構築及び持続可能な交通手段の確保を目指す取組みをしています。三重交通(株)もメンバーとなる「桑名市次世代モビリティ社会実装研究会」が2019年11月に組織され、2020年9月26～28日には、桑名市大山田団地の路線バスルートの一部で自動運転バス実証実験が実施されました。三重交通(株)の乗務員がシステム操作を担当する等、将来の実用化に向けた活動を始めました。



2020年9月 桑名市団地内での実証実験の様子

次世代移動サービス「MaaS」への参画

三重交通(株)

(株)三交タクシー

近鉄グループでは、重要観光地である伊勢志摩エリアの志摩地域において、観光地型MaaS(Mobility as a Service)「志摩MaaS」の構築を志摩市とともに目指しており、地域の交通・観光事業者、三重県、学識経験者等により構成する「志摩MaaS協議会」を立ち上げ、事業を推進しています。2019年10～11月及び2020年2～3月に実施された実証実験に三重交通(株)と(株)三交タクシーも参画し、オンデマンドバスを新規に運行する等、旅客需要や開発したMaaSに関する一連のシステム(検索、予約、決済)の運営を研究いたしました。今後も「志摩MaaS」の推進等を通じて、伊勢志摩の観光地としての魅力向上に努めてまいります。



オンデマンドバス



バス内端末

各種イベントへの参加

名阪近鉄バス(株)

名阪近鉄バス(株)では、大垣市の元気ハツラツ市・のりものフェアやおおがき未来フェスタ、本巣市でのバスフェスタ等、岐阜県内のイベントに積極的に参加し、バス車両の展示や乗車体験、乗り方教室、子どもなりぎり運転手等、バスに対する親近感と理解を深める体験型イベントを実施しています。



ロボフェスの様子



元気ハツラツ市の様子

地元高校開発商品の販売に協力

三交興業(株)

三交興業(株)では2019年12月、名阪関ドライブインにて地元高校2校による地元企業と共同開発した販売会に協力しました。あけぼの学園高校からはビューティークリエイト部の美容ジェル「peonin(ピアニン)」、水産高校の水産資源科からはレトルト食品「カツオのキーマカレー」等の商品をPR。生徒たちは来店されたお客様に商品説明や試食の提供、実演販売等積極的に販売を行いました。今後も地域活性化に繋がる活動に協力していきます。



障がい者の現場学習に協力

三交興業(株)

三交興業(株)では2019年12月、名阪関ドライブインにて三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校のものづくりコースの生徒たちが製作した製品の販売会に協力しました。この取り組みは、生徒たちが卒業後の就労に向け、店舗で直接一般のお客様と接することで「協力・共同して活動すること」「臨機応変に対応すること」の大切さを学ぶことを目的に行われました。今後も障がいのある生徒の社会経験の場となる現場実習及び雇用を積極的に推進します。



御在所ユニセフDAY

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)では2019年7月21~28日、御在所岳山上にて三重県ユニセフ協会が開催した「御在所ユニセフDAY」に協力しました。ユニセフが達成を目指しているSDGs(持続可能な開発目標)についての勉強会やパネル展示が実施されました。



勉強会の様子

地元小学生、幼稚園、保育園等ご招待

御在所ロープウェイ(株)

御在所ロープウェイ(株)では、開通60周年記念地域貢献事業として、地元小学生、幼稚園・保育園児を御在所岳に招待しました。

夏季 夏山自然学習体験 2019年7月20日~9月1日
菟野町立小学校5校の児童とその保護者(児童1名に対して1名)

冬季 雪遊び体験 2019年冬
菟野町立幼稚園等8園の園児とその保護者(園児1名に対して1名)



学習体験の案内

交通安全見守り活動の実施

三重いすゞ自動車(株)

三重いすゞ自動車(株)では、2019年7月に全拠点で地域貢献活動の一環として、近隣小学校を対象に「交通安全見守り活動」を実施しました。各小学校の通学路に社員が立ち、横断歩道等で学童の安全を確保し、地域の皆様にも大変喜んでいただきました。



地域の小中学生の社会見学・職場体験の受入れ

(株)三交ドライビングスクール

名四自動車学校では、地域の小学生の社会見学や中学生の職場体験を毎年受け入れており、自動車学校の仕組みや社会的役割について学んでいただいています。



中学生の職場体験の様子

学生を対象にした 安全な自転車の乗り方等の講習

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、地域の高校に通学時等の事故防止を目的とした講習のため、当校指導員を出張派遣しています。講習会では安全な自転車の乗り方、危険予測についての交通安全、高校近隣の事故統計、交差点における効果的な確認方法等を指導しています。また、実際にあった自転車事故の再現ドラマのDVDを鑑賞し、被害者・加害者となった時の悲惨さを訴えています。



三交不動産 バレーボールアカデミーを開催

三交不動産(株)

三交不動産(株)では、ヴィアティン三重バレーボールチームの協力のもと、津市産業センター(サオリーナ)にて2019年4月25日に小学生を対象としたバレーボール教室(第2回三交不動産バレーボールアカデミー)を開催しました。小学生106名の参加で、コートも全4面を利用してのにぎやかな開催となりました。ミニゲームの試合では、ヴィアティン三重の選手と真剣勝負的一幕もあり、充実した楽しい体験をしていただきました。



「RUN伴2019三重」へ参加

三交ウエルフェア(株)

三交ウエルフェア(株)では、2019年10月に開催された認知症の啓発イベント「RUN伴2019三重(桑名コース)」にサービス付き高齢者向け住宅「ウエルフェア桑名」の入居者3名とスタッフ2名が参加しました。また、ウエルフェア桑名は中継地点にもなり、たくさん入居者が迎え声援を送りました。



保護者会活動指導者研修会の実施

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、2年に1度、四日市市主催のもと、地元小学校の保護者約40名を対象に保護者会活動指導者研修会に協力しています。四日市南警察署交通官による交通安全についての講義とともに、当校指導員により運動技能診断を行い、自動車の法令運転及び技術指導を実施しています。また、バッテリー放電時の回復方法や発煙筒の使用方法、タイヤの交換方法の説明及び実習を行い、故障時や緊急時の対応を指導しています。



法令運転と運転技術の指導風景

高齢者の交通安全講習 (シルバーリーダー講習会)

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、三重県主催のもと、地域の高齢者の代表者(シルバーリーダー)を対象に「効果的な指導方法」と題した講習会を2年に1度開催しています。地域の代表者が各地域の高齢者に対して伝達指導できるよう、地域の交通安全指導者を育成しています。

- 当校指導員による身体機能の自覚や高齢者事故の防止方法等の講話
- 安全な歩行と横断方法の実演及び指導
- 自転車の点検と安全な乗り方指導



自転車の安全な乗り方を指導

四日市南交通安全対策 「フレッシュドライバーズコンテスト」の実施

(株)三交ドライビングスクール

四日市自動車学校では、地元の関係団体が主催し2年に1度実施される「フレッシュドライバーズコンテスト」に協力しています。地元企業の社員を対象に、法令運転、方向転換(蛸壺)、鋭角コースの通過等で構成される規定競技会を実施するとともに、交通ルールとマナーの確認として学科法令問題(50問正誤式)を実施。交通安全の重要性について再確認していただいています。



交通安全の街頭指導と呼びかけを実施

(株)三交ドライビングスクール

(株)三交ドライビングスクールでは年4回実施される交通安全運動の各期間中に様々な取り組みを行っています。

- 学校敷地フェンスへの幟の設置
- 一般道路から見える校舎西側らせん階段への懸垂幕掲示による交通法令遵守の呼びかけ
- 校舎内に「交通安全運動実施中」の看板を設置し教習生への交通法令の励行を呼びかけ
- 四日市自動車学校の職員(約10名)による近隣主要道での信号待ち自動車、横断歩行者への交通安全の呼びかけ「交通安全運動実施中」の幟を掛け、「横断中」の旗を持つての横断者の安全確保・保護



交通安全の呼びかけ



横断者を保護する職員

地域美化活動の実施

三重交通商事(株)

(株)三交クリエイティブ・ライフ

(株)三交シーエルトゥー

名阪近鉄旅行(株)

(株)三交ドライビングスクール

三重交通商事(株)は、2019年10月志摩市・国府の浜にて実施された「アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン」に参加しました。全国FM放送協議会加盟局が主催し、コスモ石油が年間協賛している活動で、年間を通じて全国の海や公園等を舞台に自然と親しみながら行う清掃活動です。三重交通商事(株)からは7名の本社スタッフと営業所の社員家族1組が参加しました。



(株)三交クリエイティブ・ライフと(株)三交シーエルトゥーは、毎年11月に開催される名古屋東急会クリーン作戦に参加しています。東急グループ企業18社の名古屋支社・営業所から有志を募り、社員とその家族が名古屋市内の美化と啓発を目的に実施されている清掃活動です。名古屋市中区栄エリアを中心に街頭のゴミ拾いを行いながら、環境意識への啓発に取り組みました。



2019年11月2日実施の清掃活動の様子

名阪近鉄旅行(株)では、観光バスが多く発着するJR名古屋駅太閤通口前の道路及びその周辺にて、3ヶ月に1度清掃活動を行い環境美化に努めています。



JR名古屋駅周辺の清掃活動

(株)三交ドライビングスクールでは、環境美化のための取り組みとして、自動車学校周辺のゴミ拾い、道路の雑草の除草、雨天後の落ち葉・土砂等の清掃を実施しています。



自動車学校周辺の美化に努める職員

Mie Kotsu Group

 三重交通グループホールディングス

三重交通グループホールディングス株式会社
〒514-0032
三重県津市中央1番1号
TEL.059-213-0351
<https://holdings.sanco.co.jp/>

2020.11